

ViewLight®

LT35J/LT30J/LT25J

取扱説明書

本機を安全にお使いいただくために
ご使用の前に必ずお読みください



- ## 1. 添付品や名称を —●— 確認する

1

- ## 2. 設置と接続

2

- ### 3. 映像を投写する —●— (基本操作)

3

- #### 4. 便利な機能

4

- ## 5. オンスクリーン——● メニュー

5

- ## 6. 本体のお手入れ／ランプの交換

6

- ## 7. 付録

7

はじめに

このたびは、NECデータプロジェクトLT35J/LT30J/LT25J（以降「LT35J/LT30J/LT25J本体」を「本機」と呼びます）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本機は、パソコンやDVDプレーヤなどに接続して、文字や映像をスクリーンに鮮明に投写するプロジェクトです。

本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用の前に、この取扱説明書（本書）をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや不具合が生じたときにお読みください。

本書は、LT35J/LT30J/LT25J共通の取扱説明書です。LT35Jを主に説明しています。本機には「保証書」を添付しています。保証書は、お買い上げの販売店から必ずお受け取りのうえ、取扱説明書とともに、大切に保存してください。

本機は、日本国内向けモデルです。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。

この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ・ ViewLight、ビューライトは、NECビューテクノロジー株式会社の登録商標です。
- ・ IBM、PC/ATは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- ・ Macintosh、PowerBookは、米国Apple Computer, Inc.の商標です。
- ・ Microsoft、Windows、PowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ DLP (Digital Light Processing) は米国テキサスインスツルメンツ社の商標です。
- ・ その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では(3)項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例

	▲ 記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘ 記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告

本機は日本国内専用です



国内では交流100ボルト以外使用禁止

- 日本国内で使用する場合は交流100ボルトで使用してください。
添付の電源コードは国内使用専用です。
日本国外で本機を使用する場合は、電源コードの仕様を確認してください。使用する国の規格・電源電圧に適合した電源コードを使用すれば、海外でも使用可能です。電源コードは必ず使用する国の規格・電源電圧に適合したものを使ってください。
詳細に関してはNECプロジェクタ・カスタマサポートセンターまでお問い合わせください。

電源コードの取り扱いには大切に



- 電源コードは大切に取扱ってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
 - ・ 添付されているもの以外の電源コードは使用しない
 - ・ コードの上に重い物をのせない
 - ・ コードをプロジェクタの下敷きしない
 - ・ コードの上を敷物などで覆わない
 - ・ コードを傷つけない、加工しない
 - ・ コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
 - ・ コードを加熱しない
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。

故障したときは電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なおいや音がある場合やプロジェクタを落したり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。販売店へ修理をご依頼ください。

水場や水にぬれるような所には置かない



水ぬれ禁止

- 次のような水にぬれるようなおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクタの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・ 雨天や降雪中、海岸や水辺で使用しない
 - ・ 風呂やシャワー室で使用しない
 - ・ プロジェクタの上に花びん、植木鉢を置かない
 - ・ プロジェクタの上にコップ、化粧品、薬品を置かない
- 万一プロジェクタの内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

次のような所では使用しない



- 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・ ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
 - ・ 暖房の近くや振動の多い所
 - ・ 湿気やほこりの多い場所
 - ・ 油煙や湯気の当たるような場所
 - ・ 調理台や加湿器のそば

警告

内部に物を入れない



異物挿入禁止

- プロジェクタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。万一異物がプロジェクタ内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

キャビネットは絶対にあけない



分解禁止

- プロジェクタのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。また改造しないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご相談ください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。

プロジェクタのレンズをのぞかない



レンズをのぞかない

- プロジェクタのレンズをのぞかないでください。動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。

ランプ交換は電源を切ってから



電源プラグをコンセントから抜く

- ランプの交換は、電源を切りしばらく待って、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、約60分おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となります。詳細は68～71ページをご覧ください。

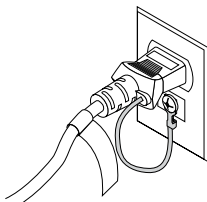
天吊りの設置について



- 天吊りなどの特別な工事が必要な設置については販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。

⚠ 注意

機器のアースは確実にしてください



- 本機の電源プラグはアースつき2芯プラグです。機器の安全確保のため、機器のアースは確実にしてご使用ください。詳細は29ページをご覧ください。

ぬれた手で電源プラグに触れない



ぬれた手は危険

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがない



- プロジェクタの通風孔をふさがないでください。またプロジェクタの下に紙や布などの柔らかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。プロジェクタを設置する場所は周囲から適当な空間（目安として10cm以上）あけてください。

動作中にレンズにふたをしない



- 動作中にレンズにふたをしないでください。ふたの部分が高温になり変形することがあります。
- 動作中にレンズの前に物を置かないでください。物が高温になり、破損や火災の原因となることがあります。

移動するときは電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 移動させる場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外したことを確認のうえ、行ってください。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 長期間、プロジェクタをご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れの際は電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

投写中および投写終了直後は排気口を触らない



- 投写中および投写終了直後は、排気口付近を触らないでください。排気口付近が高温になり、やけどの原因となることがあります。

注意

ソフトケースの取り扱いについて



無理な扱いはしない

- プロジェクタを入れて振り回さないください。また、本機および本機の添付品以外は入れないください。
プロジェクタやソフトケースが落下して、けがの原因となることがあります。

電池の取り扱いについて



- 電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 - ・ 電池をショート、分解、火に入れたりしない
 - ・ 指定以外の電池は使用しない
 - ・ 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
 - ・ 電池を入れるときは、極性(＋と－の向き)に注意し、表示どおりに入れる
- 電池を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

点検・工事について



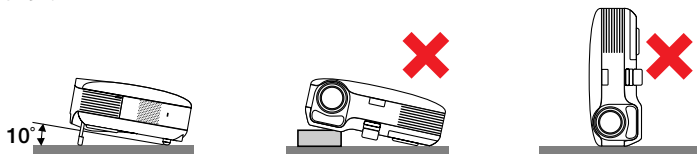
内部の掃除を販売店で

- 1年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。プロジェクタの内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の掃除費用につきましては販売店などにご相談ください。

お願い

性能確保のため、次の点にご留意ください

- 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。
動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。
高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
- 本機を傾けて使用する場合は、チルトフットの傾き範囲以内 ($0\sim 10^{\circ}$) にしてください。チルトフットの範囲を超えて傾けたり、左右に傾けたりすると、故障の原因となります。



- たばこの煙の多い場所での使用・長時間の使用
 - ・ たばこの煙・ほこりの多い場所で使用する場合、または長時間連続して(5時間/日または260日/年を超えて)使用する場合は、あらかじめ当社にご相談ください。
 - ・ 本機を長時間にわたり連続して使用される場合は、「ファンモード」を「高速」にしてください。(▶ 63ページ)
- スクリーンへの外光対策をしてください。
スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。
外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて
ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。
スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
- 持ち運びについて
 - ・ 添付のソフトケースに収納して運んでください。
 - ・ レンズに傷が付かないように必ずレンズキャップを取り付けてください。
 - ・ 振り回したりして、プロジェクタ本体に強い衝撃を与えないでください。
 - ・ ソフトケースに収納した状態で、宅配便や貨物輸送はしないでください。プロジェクタの故障の原因となります。
- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。
投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、レンズ面には手をふれないでください。
また、本機を使用されないときは、添付のレンズキャップをかぶせておいてください。

- フォーカスセンサ部の汚れは拭きとってください。
フォーカスセンサ部に指紋や汚れが付くと、センサの感度が低下して動作範囲が短くなったり、フォーカスが合わなくなります。
- 廃棄について
本体の廃棄の際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

ランプ取り扱い上の注意

- プロジェクタの光源には、高輝度化を目的とした内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。このランプは、ご使用時間とともに輝度が徐々に低下する特性があります。また、電源の入／切の繰り返しも、輝度低下を早めます。
- ランプは、衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などにより、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となることがあります。また、ランプが破裂や不点灯に至るまでの時間、条件には、ランプの個体差や使用条件によって差があり、本書に記載している指定の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。
なお、指定の使用時間を超えてお使いになった場合は、ランプが破裂する可能性が高くなりますので、ランプ交換の指示が出た場合には、すみやかに新しいランプに交換してください。
- ランプ破裂時には、ランプハウス内にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部に含まれるガスがプロジェクタの通風孔から排出されることがあります。ランプ内部に使用されているガスには水銀が含まれていますので、破裂した場合は窓や扉をあけるなど十分に換気を行ってください。ガスを吸い込んだり、目に入ったりした場合には、すみやかに医師にご相談ください。
- ランプが破裂した場合には、プロジェクタ内部にガラスの破片が散乱している可能性があります。プロジェクタ内部の清掃、ランプの交換その他の修理について、必ずお買い上げの販売店またはNECプロジェクタ・カスタマサポートセンターに依頼し、お客様で自身でプロジェクタ内部の清掃、ランプ交換を行わないでください。

電源プラグを抜く際の注意

- 投写中は、本機やコンセントから電源コードを抜かないでください。本機のAC IN端子や電源プラグの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中にAC電源を切断する場合は、テーブルタップのスイッチやブレーカなどを利用してください。
- 本機の電源を切ったあとの冷却ファンの回転中は、電源プラグをコンセントから抜くことができます。
電源を切ったあとの冷却ファン回転中に、電源プラグをコンセントから抜くと、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。
- ランプ点灯後約1分間（POWERインジケータが緑色で点滅中）はAC電源を切断しないでください。ランプ交換時間（目安）*が短くなります。
※保証時間ではありません。

目次

はじめに	2
本機を安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください	3
お願い	8
目次	10
本書の表記について	12
1. 添付品や名称を確認する	13
1-1. 添付品の確認	13
1-2. 特長	15
1-3. 本体各部の名称	16
1-4. リモコン各部の名称	20
2. 設置と接続	23
2-1. 設置と接続の流れ	23
2-2. スクリーンとプロジェクタを設置する	24
2-3. パソコンと接続する	25
2-4. DVDプレーヤなどのAV機器と接続する	26
2-5. 書画カメラと接続する	28
2-6. 電源コードを接続する	29
3. 映像を投写する(基本操作)	30
3-1. 映像を投写する流れ	30
3-2. 本機の電源を入れる	31
3-3. 入力信号を選択する	32
3-4. 投写画面の位置と大きさを調整する	34
3-5. フォーカスを手動で調整する	38
3-6. 台形歪みを手動で調整する	39
3-7. 映像を自動調整する	40
3-8. 本機の音量を調整する	41
3-9. 本機の電源を切る	42
3-10. あとかたづけ	43
4. 便利な機能	44
4-1. 映像と音声を消去する	44
4-2. 動画を静止画にする	44
4-3. ランプモードを切り替える	44
4-4. セキュリティを設定して無断使用を防止する	45
4-5. 本機のリモコンでパソコンのマウス操作を行う	47

5. オンスクリーンメニュー	49
5-1. オンスクリーンメニューの基本操作	49
5-2. オンスクリーンメニュー一覧	52
5-3. 映像調整	54
5-4. 画像設定	56
5-5. セットアップ	59
5-6. 情報	64
5-7. リセット	65
6. 本体のお手入れ／ランプの交換	66
6-1. レンズとフォーカスセンサの清掃	66
6-2. キャビネットの清掃	67
6-3. ランプの交換	68
7. 付録	72
故障かな？と思ったら	72
インジケータ表示一覧	75
投写距離とスクリーンサイズ	77
対応解像度一覧	79
外観図	80
関連商品一覧	81
コンピュータ映像入力端子のピン配列と信号名	81
トラブルチェックシート	82
仕様	84
保証と修理サービス（必ずお読みください）	85
海外でご使用になる場合：トラベルケアのご紹介	86
索引	94
ビューライトクラブのご案内	97

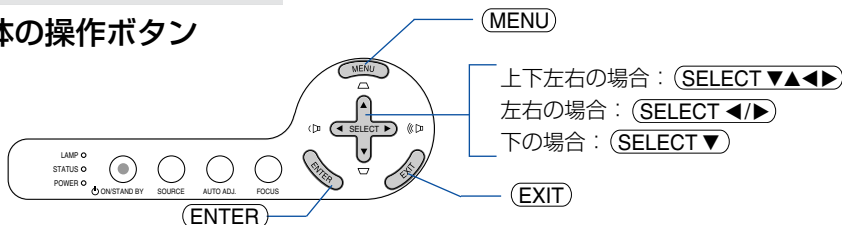
本書の表記について

マークの意味

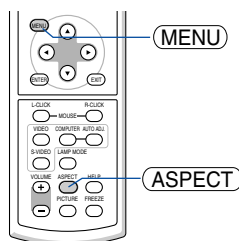
	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。
	注意や制限事項を表しています。
	補足説明や役立つ情報を表しています。
	本書内の参照ページを表しています。

操作ボタンの表記例

●本体の操作ボタン



●リモコンの操作ボタン



オンスクリーンメニュー項目の表記例

[映像調整]

映像調整

画像設定

セットアップ

全般

設定

オプション

情報

リセット

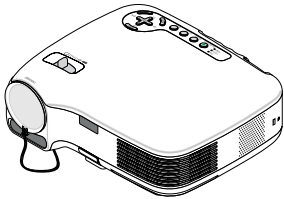
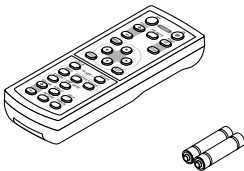
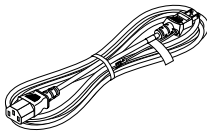
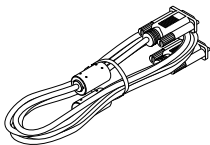
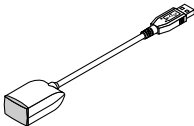
 参考

●本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

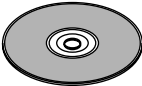
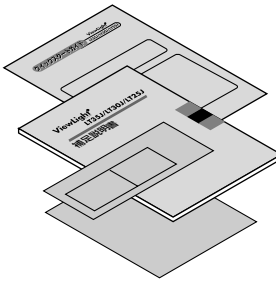
1. 添付品や名称を確認する

1-1. 添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。

	プロジェクタ (本機) パソコンやDVDプレーヤなどを接続して、画面や映像を大きなスクリーンに映す機器です。 レンズキャップ (024F41351) 本機のレンズに装着し、移動時や保管時にレンズを保護します。
	リモコン (07N900681) 本機の電源の入／切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。 ご購入後はじめて使用するときには、添付の単4乾電池2本をセットしてください。(▶ 22ページ) 単4乾電池2本 添付のリモコンにセットします。
	電源コード (07N080108) AC100Vと本機に接続します。
	RGB信号ケーブル (ミニD-Sub 15ピン) (07N520054) パソコンの画面をスクリーンに投写する場合に使用します。 (▶ 25ページ)
	マウスレシーバ (07N900562) パソコンのUSBポートに接続すると、本機のリモコンでパソコンのマウス操作が行えます。(▶ 47ページ)
	ソフトケース (024BS7551) 本機や添付品を収納します。移動時や保管時にご使用ください。

次ページに続く

	User's Manual CD-ROM (07N950761) 取扱説明書(本書)がPDF (Portable Document Format) 形式で収録されています。
	クイックスタートガイド (07N8P6191) 機器の接続、電源オン、投写画面の調整など、基本的な操作方法をコンパクトにまとめて説明しています。 補足説明書 (07N8P6201) 安全のために守っていただきたいこと、保証とサービスなどについて記載しています。 保証書 プロジェクトの保証内容・条件を記載しています。 ビューライトクラブ申込書 ビューライトクラブに入会していただくと、会員ならではのサービスが受けられます。入会金・会費は無料です。



-
- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
 - 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。
-

1-2. 特長

● DLP™方式の小型高輝度プロジェクタ

DLP™方式を採用し、小型で、高輝度を実現しました。

● 投写画面のフォーカスを自動的に合わせるオートフォーカス

本機の電源を入れたとき、および投写中に本体を動かしたりズームレバーを動かしたりしたときに、フォーカス調整を自動的に行います。

● ダイレクトパワーオフ

投写中にAC電源を切断することができます。

また、パワーオフ操作後すぐに電源コードを外すことができ、別室への移動が早く行えます。

● パソコン入力信号を自動調整

パソコンのアナログRGB入力信号を自動調整。

● 圧縮表示によりSXGA+までの解像度に対応

XGA (1024×768ドット) にリアル対応、圧縮表示によりSXGA+ (1400×1050ドット) の入力信号までカバー。

● 投写画面の台形歪みを自動的に補正

本機の上方向の傾きを感知し、投写した画面が台形に歪むのを自動的に補正します。

● 壁色補正

投写している壁面の色に応じて、見やすい色合いにワンタッチで補正することができます (壁色補正機能)。

これにより、スクリーンが設置されていないところでも、見やすい映像を投写することができます。

● 動画もきれいに再生できるコンポーネント信号に対応

コンピュータ映像入力端子に別売のコンポーネントビデオ変換アダプタ (形名ADP-CV1) を接続しコンポーネント信号を入力すると、自動判別機能によりコンポーネント信号に自動的に切り替えます。DVDやハイビジョン放送など16:9のワイドサイズ映像もクリアなデジタル映像で再生できます。

● お好みの色を設定&記憶できる、プリセット機能

プレゼンテーションや映画など、映像ソースに応じた映像補正機能を搭載。5つの映像モードから選択できます。また、お客様が調整した状態を本体内のメモリに記憶できます。

● 無断使用を防止するセキュリティ機能

キーワードを設定することにより、他人が無断で本機を使用できないようにすることができます。

1-3. 本体各部の名称

本体前面

ズームレバー

投写した画面の大きさを調整します。

(➡ 36ページ)

レンズ

ここから映像が投写されます。

フォーカスセンサ部

オートフォーカスの距離を計測する部分です。

(➡ 36ページ)

レンズキャップ

レンズを保護します。

チルトボタン

チルトボタンを押すとチルトフットを伸縮できます。

本機の投写角度を固定したいところで、チルトボタンから指を離します。

(➡ 35ページ)

チルトフット

投写角度を調整します。チルトボタンを押して上下に伸縮できます。(➡ 35ページ)

リモコン受光部

リモコンの信号を受ける部分です。

(➡ 22ページ)

本体操作部

本機の電源の入/切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。

(➡ 18ページ)

盗難防止用ロック

盗難防止のためワイヤーケーブルを付ける際に使用します。

詳しくは次ページの  をご覧ください。

スピーカ (モノラル)

音声入力端子から入力された音声を出します。(➡ 41ページ)

排気口

ランプの熱を排気します。

本体背面

接続端子部

各種映像信号や音声信号のケーブルを接続します。(➡ 19ページ)

吸気口

AC IN 端子

添付の電源コードを接続します。

(➡ 29ページ)

本体底面

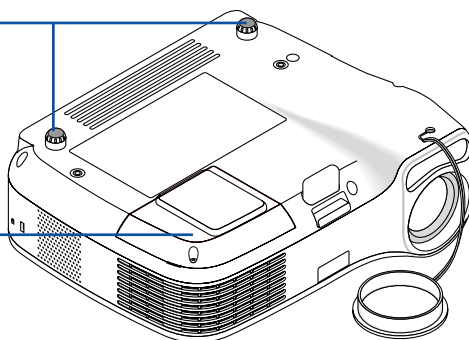
リアフット

リアフットを回して左右の傾きを調整します。

(▶ 35ページ)

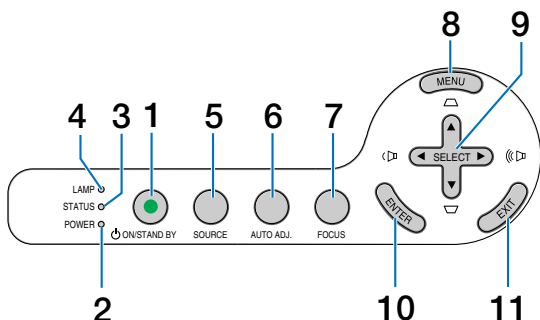
ランプカバー

ランプ交換のときカバーを外します。(▶ 69ページ)



- 盗難防止用ロックについて 
盗難防止用ロックは、キーケーブルロック等のセキュリティワイヤーに対応しています。
製品についてのお問い合わせ先は、以下のとおりです。
日本ポラデジタル株式会社 第3営業部
〒104-0032 東京都中央区八丁堀1丁目5番2号 はごろもビル
Tel : 03-3537-1070 Fax : 03-3537-1071

本体操作部



1 POWER (ON/STAND BY) ボタン

本機の電源を入/切(スタンバイ状態)します。電源を入れるときは、約1秒押します。電源を切る(スタンバイ状態)ときは、一度押して電源オフ確認メッセージを表示してもう一度(ON/STAND BY) (または(ENTER)) ボタンを押します。

2 POWERインジケータ

電源が入っているときは緑色に点灯します。(☞ 31ページ)
電源が切れている(スタンバイ状態)ときはオレンジ色に点灯します。

3 STATUSインジケータ

本体キーロック中に操作ボタンを押したときや、本機に異常が発生したときに、点灯/点滅します。
詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください。(☞ 76ページ)

4 LAMPインジケータ

ランプの交換時期がきたことやランプモードの状態(エコモード)をお知らせします。(☞ 76ページ)

5 (SOURCE) ボタン

コンピュータ、ビデオ、S-ビデオの入力を切り替えます。
押し続けると次のように切り替わります。
→コンピュータ→ビデオ→S-ビデオ…
入力されていない信号は飛び越します。(☞ 32ページ)

6 (AUTO ADJ.) ボタン

コンピュータ入力信号の画像を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。(☞ 40ページ)

7 (FOCUS) ボタン

短く押すと(SELECT ◀▶) ボタンでフォーカス調整ができます。
長く押すと、オートフォーカスが働きます。(☞ 38ページ)

8 (MENU) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。(☞ 49ページ)

9 (SELECT ◀▶▶▶) ボタン(音量調整ボタンと台形補正ボタンを兼用)

- ・オンスクリーンメニューを表示しているときに(SELECT ◀▶▶▶) ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。(☞ 49ページ)
- ・オンスクリーンメニューを表示していないときは、(SELECT ◀▶▶▶) ボタンで音量の調整ができます。(☞ 41ページ)
また、(SELECT ◀▶▶▶) ボタンで台形歪みの補正ができます。(☞ 39ページ)

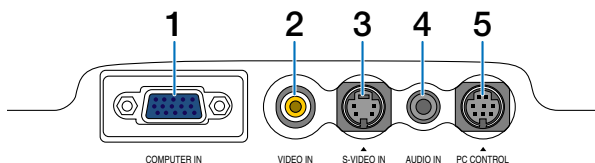
10 (ENTER) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。
確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

11 (EXIT) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。
確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

接続端子部



- 1 コンピュータ映像入力端子 (COMPUTER IN) (ミニD-Sub 15ピン)**
パソコンのディスプレイ出力端子や、DVDプレーヤなどのコンポーネント出力端子と接続します。(🔗 25,27ページ)

- 2 ビデオ映像入力端子 (VIDEO IN) (RCA-フォノ)**
ビデオデッキやDVDプレーヤなどの映像出力端子と接続します。(🔗 26,28ページ)

- 3 S-ビデオ映像入力端子 (S-VIDEO IN) (ミニDIN-4ピン)**
ビデオデッキやDVDプレーヤなどのS映像出力端子と接続します。(🔗 26,28ページ)

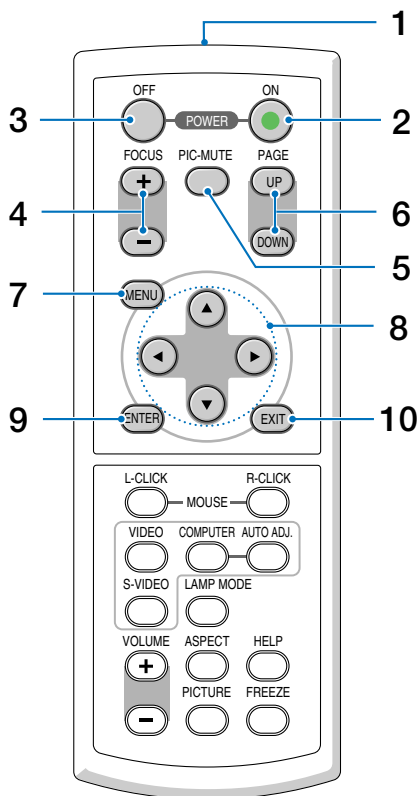
- 4 音声入力端子 (AUDIO IN) (ステレオ・ミニ)**
コンピュータ映像入力、ビデオ映像入力、S-ビデオ入力共用の音声入力端子です。パソコンまたはDVDプレーヤ、ビデオデッキなどの音声出力端子と接続すると、本機のスピーカから音が出せます。(🔗 25,26ページ)
本機のスピーカから出力される音声はモノラルのみです。

- 5 PCコントロール端子 (PC CONTROL) (ミニDIN-8ピン)**
パソコンで本機を操作するときに使います。

1

添付品や名称を確認する

1-4. リモコン各部の名称



1 リモコン送信部

赤外線によるリモコン信号が送信されます。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

2 POWER (ON) ボタン

約1秒押して、本機の電源を入れます。

3 POWER (OFF) ボタン

一度押して電源オフ確認メッセージを表示してもう一度 (OFF) (または (ENTER)) ボタンを押すと、本機の電源が切れます (スタンバイ状態)。

4 (FOCUS +/-) ボタン

投写画面のフォーカス調整を手動で行います。
(▶ 38ページ)

5 (PIC-MUTE) ボタン

映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。

6 (PAGE UP/DOWN) ボタン

添付のマウスレシーバをパソコンに接続しているときに使います。パソコン画面のスクロールや、PowerPointの画面切り替えなどの操作が行えます。(▶ 48ページ)

7 (MENU) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

8 (SELECT ◀▶▶▶) ボタン

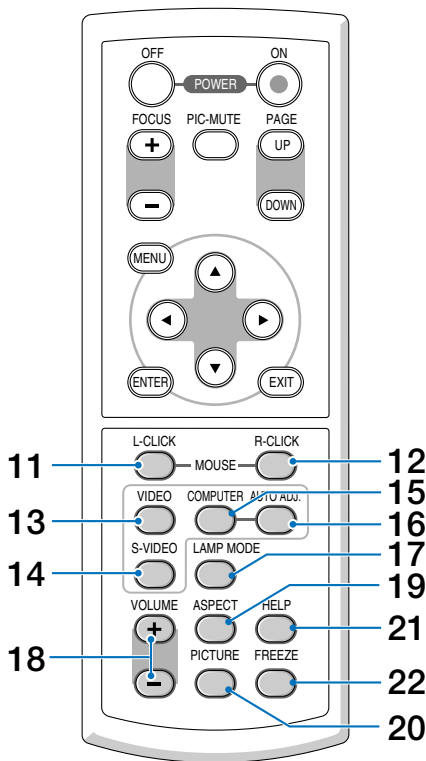
オンスクリーンメニュー操作に使います。また、添付のマウスレシーバをパソコンに接続しているときは、パソコンのマウスとして動作します。(▶ 49,48ページ)

9 (ENTER) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。
確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

10 (EXIT) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。
確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。



11 (MOUSE L-CLICK) ボタン

添付のマウスレシーバをパソコンに接続しているときに使います。(➡48ページ)
マウスの左ボタンの動作をします。

12 (MOUSE R-CLICK) ボタン

添付のマウスレシーバをパソコンに接続しているときに使います。(➡48ページ)
マウスの右ボタンの動作をします。

13 (VIDEO) ボタン

ビデオ入力を選択します。

14 (S-VIDEO) ボタン

S-ビデオ入力を選択します。

15 (COMPUTER) ボタン

コンピュータ入力 (またはコンポーネント) を選択します。

16 (AUTO ADJ.) ボタン

投写しているコンピュータ入力信号の画像を最適な状態に自動調整します。(➡40ページ)

17 (LAMP MODE) ボタン

ランプモードを切り替えます。(➡44ページ)

18 (VOLUME +/-) ボタン

内蔵スピーカの音量を調整します。

19 (ASPECT) ボタン

アスペクト調整項目を表示します。
(➡56ページ)

20 (PICTURE) ボタン

ボタンを押すたびに、映像のプリセット、明るさ、コントラスト、シャープネス、カラー、色相の映像調整項目を順に表示します。
(➡54,55ページ)

21 (HELP) ボタン

情報画面を表示します。(➡64ページ)

22 (FREEZE) ボタン

表示されている画像が静止画となります。もう一度押すと戻ります。(➡44ページ)

●電池の入れかた

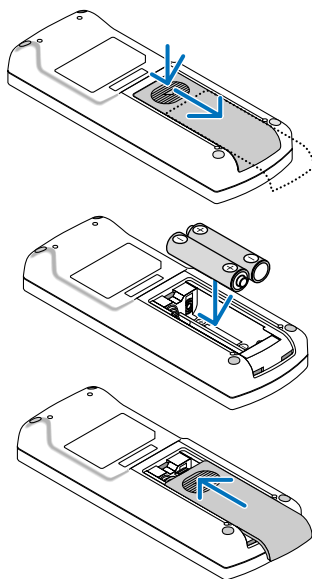
1 リモコン裏面の電池ケースのふたを押したまま手前に引き、上に持ち上げて外す。

2 ケース内部に印刷されている＋、－の向きに合わせて単4乾電池をセットする。

3 もとどおりにふたをする。



● 乾電池を交換するときは、2本とも同じ種類の単4乾電池をお買い求めください。

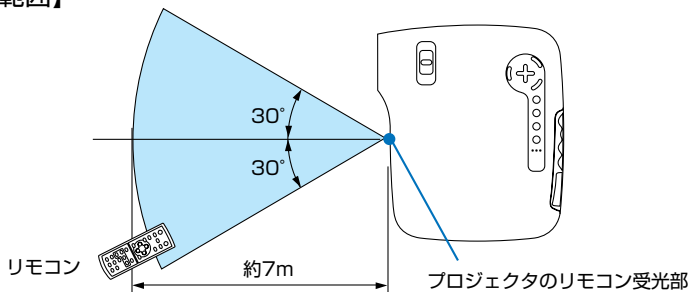


●リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体前面のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。

リモコン信号をスクリーンに反射させて本体前面のリモコン受光部で受信することもできます。

【水平方向の受光範囲】



(注) 有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

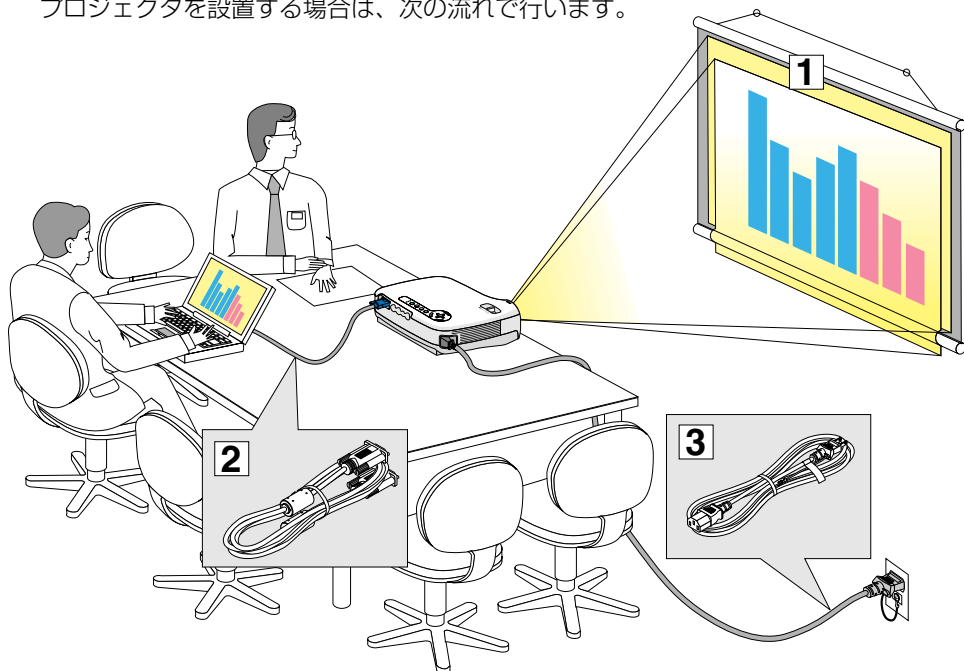
●リモコンの使用上の注意

- 本機のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中で障害物があると信号がさえぎられていると動作しません。
- 本体から約7m以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンを落としたり、誤った取り扱いはいけません。
- リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を取り出してください。

2. 設置と接続

2-1. 設置と接続の流れ

프로젝터를設置する場合は、次の流れで行います。



ステップ 1

スクリーンと 프로젝터를設置する (➡ 24ページ)



ステップ 2

パソコンやビデオデッキなどを 프로젝터に接続する

- ・パソコンと接続する場合 (➡ 25ページ)
- ・DVDプレーヤーやビデオデッキなどのAV機器と接続する場合 (➡ 26.27ページ)
- ・書画カメラと接続する場合 (➡ 28ページ)



ステップ 3

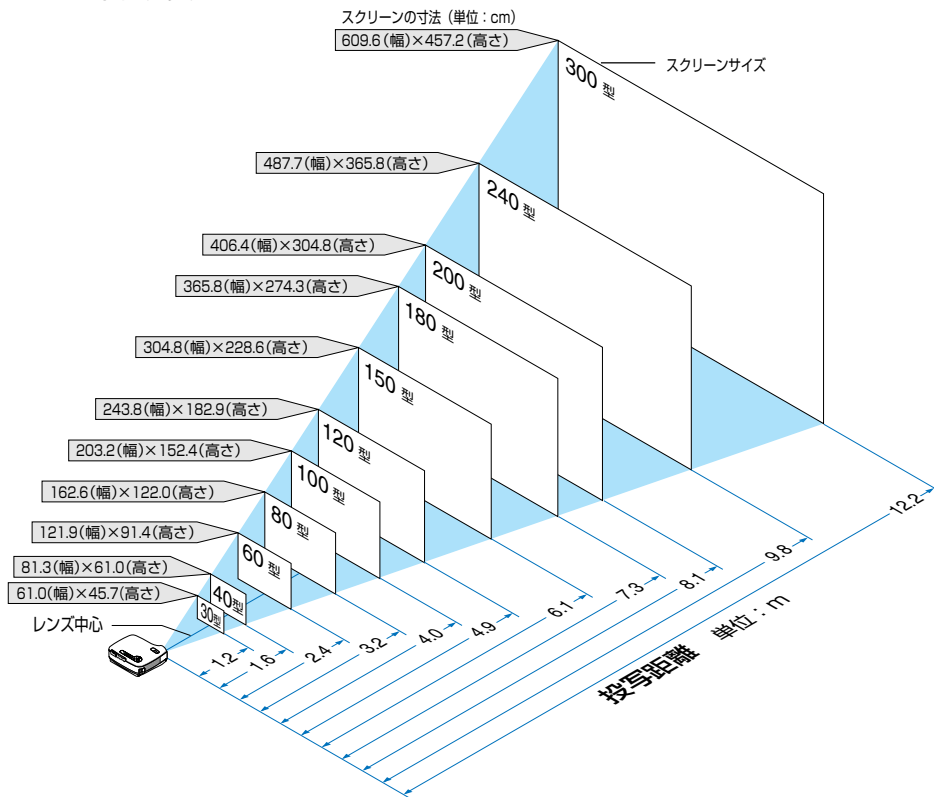
電源コードを接続する (➡ 29ページ)

2-2. スクリーンとプロジェクタを設置する

下図を参照して、適切な画面サイズとなる位置にプロジェクタを設置してください。
プロジェクタのレンズ面をスクリーンの中心にまっすぐ向けてください。

例1：100 型のスクリーンに投写する場合は、下図より4m 離して設置します。

例2：スクリーンから6m 離してプロジェクタを設置すると、下図より約150 型の画面となります。

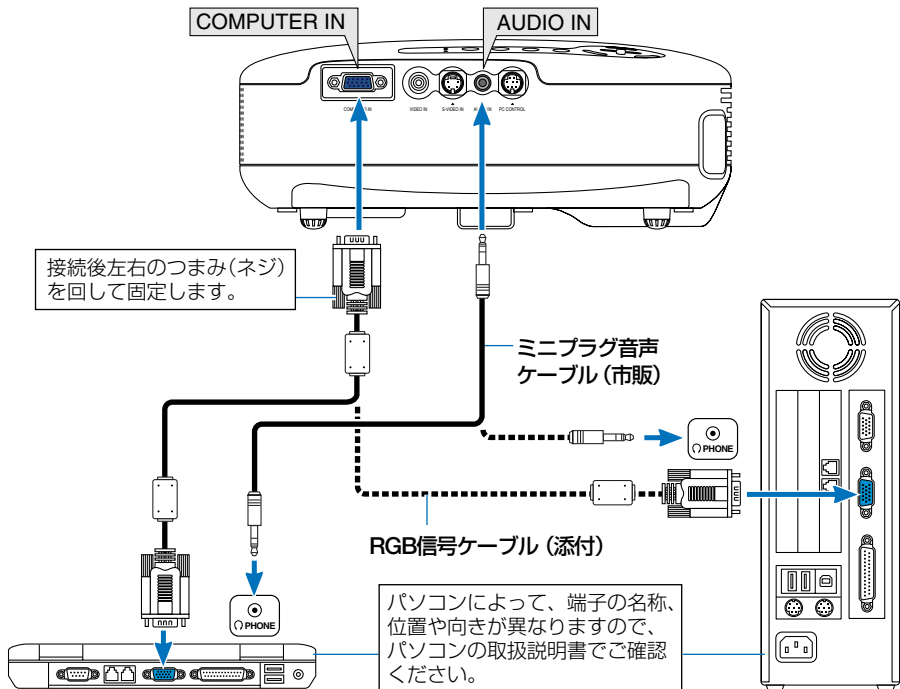


参考

- この図のスクリーン寸法は、ズームレバーのテレ (投写面積が最小) 側とワイド (投写面積が最大) 側の間の値です。
ズームレバーを操作すると、画面のサイズを約±10 %の範囲で変更することができます。
なお、図の各寸法は、設計値のため実際の寸法と多少の誤差がありますので目安としてください。
- 投写距離と画面サイズについては、付録の「投写距離とスクリーンサイズ」をご覧ください。(▶ 77,78ページ)
- 本体を動かしたり、ズームレバーを動かすと、オートフォーカスが働きます。
(▶ 36ページ)
- また上下方向へ角度を変えると、台形歪みを自動的に補正します。(▶ 37ページ)

2-3. パソコンと接続する

パソコン側のディスプレイ出力端子(ミニD-Sub15ピン)と、本機のコンピュータ映像入力端子(COMPUTER IN)を、添付のRGB信号ケーブルで接続します。



注意

- パソコンや本機の電源を切ってから接続してください。
- 音声ケーブルをヘッドホン端子と接続する場合、接続する前にパソコンの音量を低めに調整してください。そして、パソコンと本機を接続して使用する際に、本機の音量とパソコンの音量を相互に調整し、適切な音量にしてください。
- パソコンにミニジャックタイプの音声出力端子がある場合は、その端子に音声ケーブルを接続することをおすすめします。
- L型ミニプラグは、本機の音声入力端子(AUDIO IN)に接続できません。
- 当社製のビデオユニット(形名ISS-6020J)のビデオデコード出力には対応していません。
- スキャンコンバータなどを介してビデオデッキを接続した場合、早送り・巻き戻し再生時に正常に表示できない場合があります。

参考

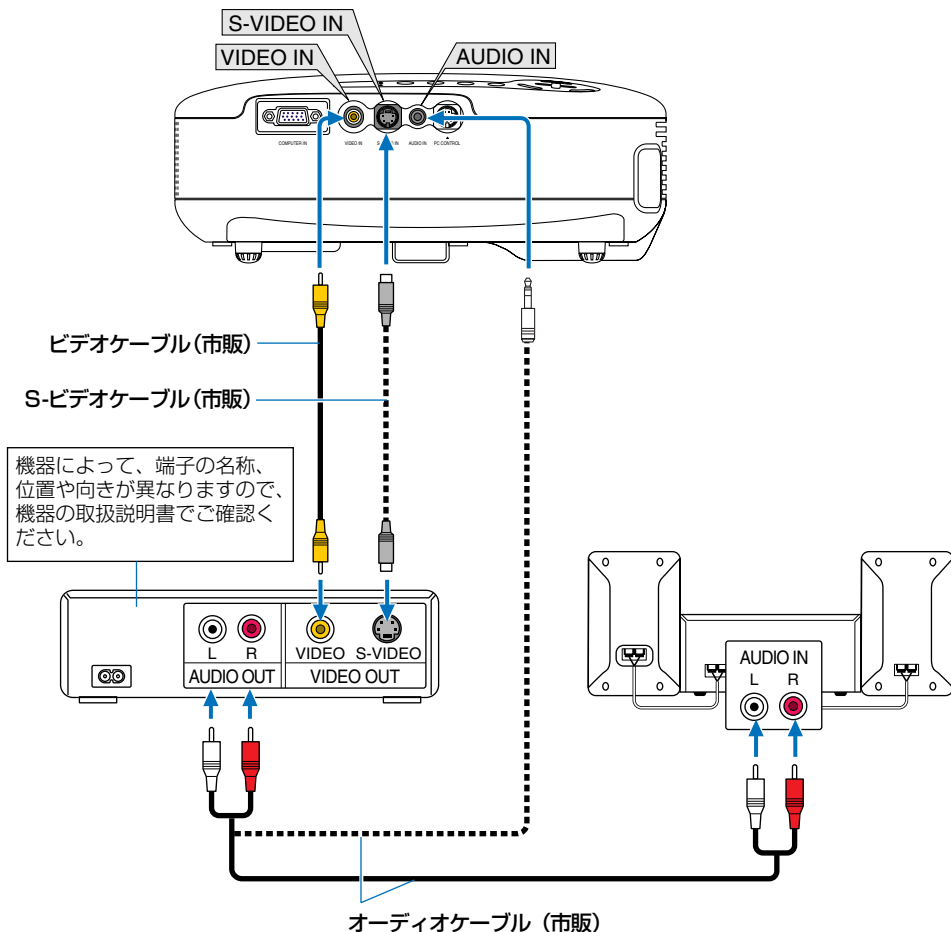
- コンピュータ映像入力端子(COMPUTER IN)は、Windowsのプラグ・アンド・プレイに対応しています。
- Macintoshとの接続では、Macintosh用信号アダプタ(市販品)が必要になる場合があります。
- パソコンと本機を離して使用する場合は、別売のマルチシンク10mケーブル(形名VL-CA10MD)を使用してください。

2-4. DVDプレーヤなどのAV機器と接続する

ビデオ信号／S-ビデオ信号の接続

ビデオデッキ、テレビチューナなどのビデオ機器の映像を映す場合は、市販のケーブルを使用してください。

ビデオ機器の音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。



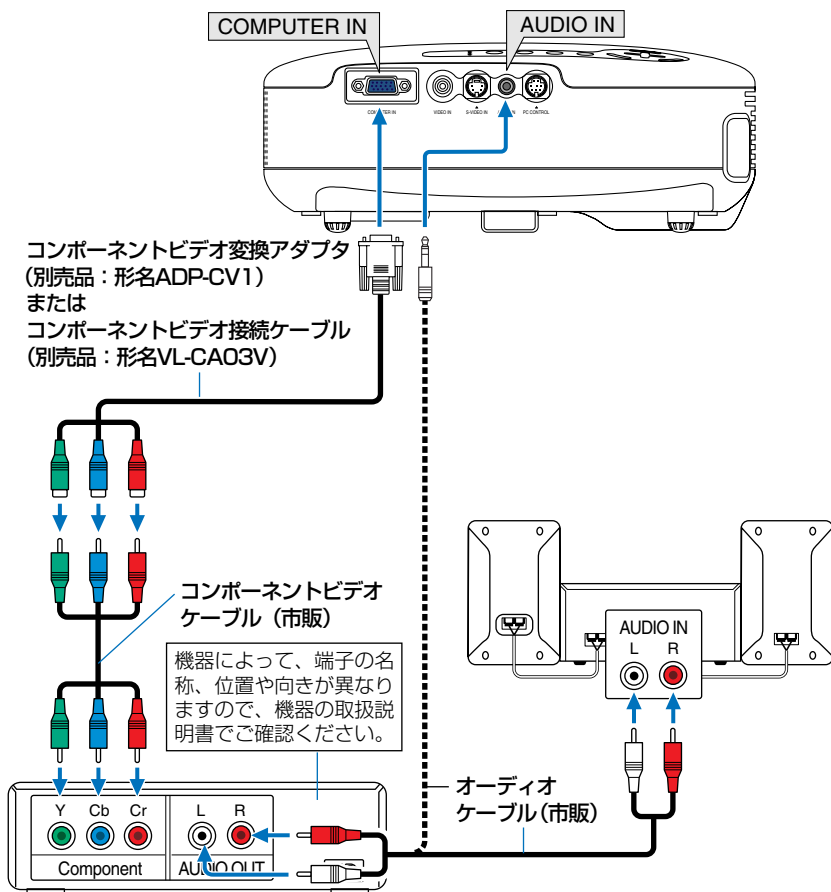
注意

- VIDEOとS-VIDEOおよびCOMPUTERの音声入力端子 (AUDIO IN) は共用です。
- L型ミニプラグは、本機の音声入力端子 (AUDIO IN) に接続できません。

コンポーネント信号の接続

DVDプレーヤの色差出力端子 (DVD映像出力) やハイビジョンビデオなどのYPbPr出力端子 (HD映像出力) を使って本機で映すことができます。

DVDプレーヤの音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。



2

設置と接続



注意

- L型ミニプラグは、本機の音声入力端子 (AUDIO IN) に接続できません。



参考

- 映らない場合は、[セットアップメニュー] → [信号選択] が「RGB/コンポーネント」に設定していることをご確認ください。(▶ 63ページ)
- D端子付きの映像機器と接続する場合は、別売のD端子変換アダプタ (形名ADP-DT1) をお使いください。

2-6. 電源コードを接続する

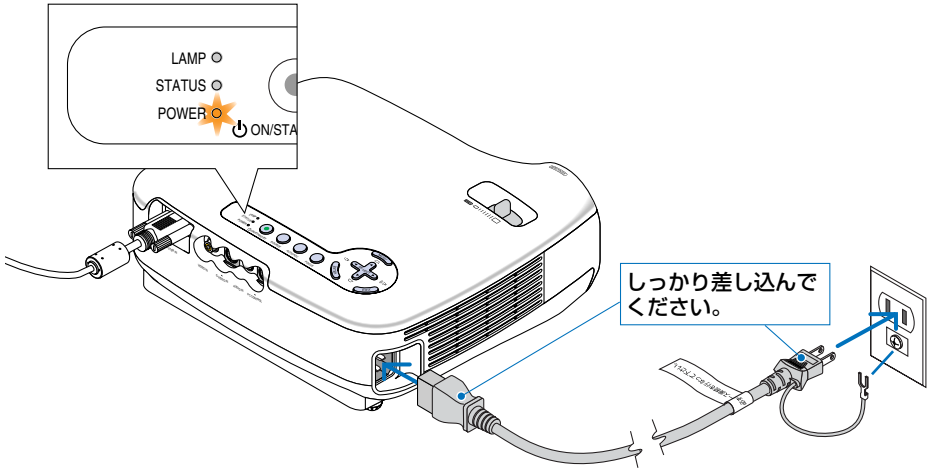
本機のAC IN端子と、AC100Vアース付きのコンセント（アース工事済み）を、添付の電源コード（国内仕様）で接続します。



注意

機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。感電の原因となりますので、アース工事は専門業者にご依頼ください。アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

電源コードを接続すると、本機のPOWERインジケータがオレンジ色に点灯します（スタンバイ状態）。



注意

- 投写中および冷却ファンの回転中にAC電源を切断すると、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。
- 投写中は、本機やコンセントから電源コードを抜かないでください。本機のAC IN端子や電源プラグの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中にAC電源を切断する場合は、テーブルタップのスイッチやブレーカなどを利用してください。

参考

- 本機の電源を切ったあとの冷却ファンの回転中は、電源プラグをコンセントから抜くことができます。

2

設置と接続

3. 映像を投写する(基本操作)

3-1. 映像を投写する流れ

ステップ 1

本機の電源を入れる (▶ 31ページ)



ステップ 2

入力信号を選択する (▶ 32ページ)



ステップ 3

投写画面の位置と大きさを調整する (▶ 34ページ)



ステップ 4

映像や音声を調整する

- ・画質を調整する場合 (▶ 40ページ)
- ・本機の音量を調整する場合 (▶ 41ページ)



ステップ 5

プレゼンテーションを行う



ステップ 6

本機の電源を切る (▶ 42ページ)



ステップ 7

あとかたづけ (▶ 43ページ)

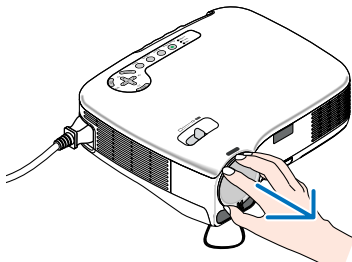
3-2. 本機の電源を入れる

準備：「2 設置と接続」(▶23ページ)を参照のうえ、機器の接続を行ってください。

1 レンズからレンズキャップを取り外す。

注意

- ひもを持ってレンズキャップを引っ張らないでください。故障の原因となります。



2 POWER (ON/STAND BY) ボタンを約1秒押す。

本機の電源が入り、しばらくしてスクリーンに映像が表示され始めます。

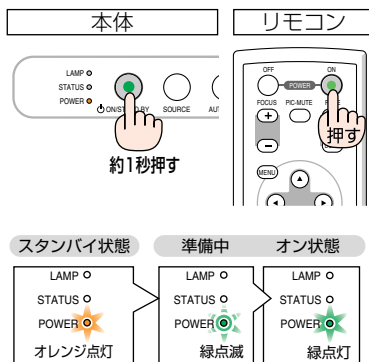
- リモコンで操作する場合は、POWER (ON) ボタンを約1秒押します。
- 信号が入力されていないときは、青い画面（ブルーバック：工場出荷状態）が表示されます。

参考

- 電源を入れたとき、オートフォーカスが働きます。(▶36ページ)
- 「本体キーロック中です。」が表示されたときは、本体キーロックが設定されています。(▶61ページ)

.....

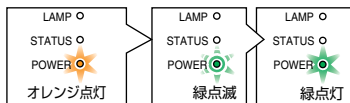
- ご購入後はじめて電源を入れたときは「Menu Language Select (言語選択)」画面が表示されます。次のように操作して「日本語」を選択してください。



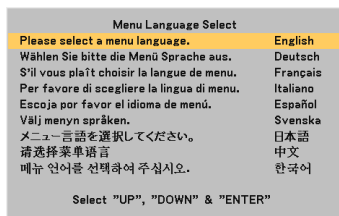
スタンバイ状態

準備中

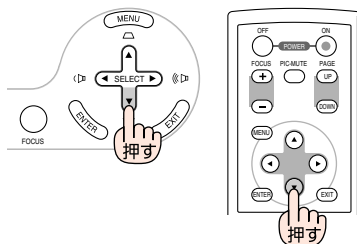
オン状態



インジケータが上記以外の点滅をしているときは、75ページをご覧ください。



- 1 (SELECT ▼) ボタンを押して、オレンジ色のカーソルを「日本語」に合わせる。

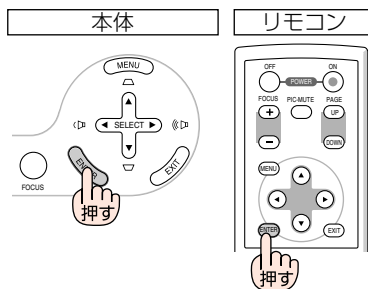


3

映像を投写する(基本操作)

② (ENTER) ボタンを押す。

画面が消え、オンスクリーンメニューの表示が日本語に設定されます。



注意

- 本機の電源が入っている間は、レンズからレンズキャップを外しておいてください。高温になりレンズキャップが変形する場合があります。
- 次のような場合は、POWER (ON/STAND BY) ボタンを押しても電源が入りません。
 - ・ 内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待って (内部の温度が下がって) から電源を入れてください。
 - ・ ランプ交換時間 (目安) *に達した場合は電源が入りません。ランプを交換してください。※保証時間ではありません。
 - ・ 電源を入れてもランプが点灯せず、STATUSインジケータが点滅 (6回周期の点滅) している場合は、60秒以上待って再度電源を入れてください。
- POWERインジケータが緑色で点滅しているときは電源を切ることができません。また、このときはAC電源の切断もしないでください。ランプ交換時間 (目安) *が短くなります。
※保証時間ではありません。
- 電源を入れたとき、ランプが安定して点灯するまで (3~5分) 映像がちらつく場合があります。これはランプの特性上発生するもので故障ではありません。
- ランプの消灯直後に電源を入れたときやランプの温度が高いときは、ファンのみが動作後、しばらくたってからスクリーンに映像が投写されます。

3-3. 入力信号を選択する

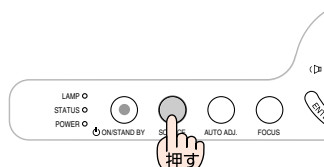
本体の操作ボタンで選択する

① 本機に接続しているパソコンやビデオデッキなどの電源を入れる。

ビデオデッキなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

② (SOURCE) ボタンを短く押す。

信号選択画面が表示されます。

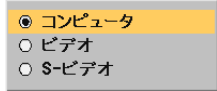


3 (SOURCE) ボタンを数回短く押して、
投写したい入力信号にカーソルを合わ
せる。

ボタンを短く押すたびに、次の入力信号にカーソ
ルが移動します。

・しばらくすると選択した入力信号に切り替わり
ます。

- 参考**
- (SOURCE) ボタンを2秒以上押すと、入力
している信号を自動的に探します。

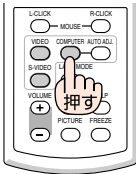


リモコンを使って選択する

1 本機に接続しているパソコンやビデオ
デッキなどの電源を入れる。

ビデオデッキなどの映像を投写するときは、再生
(PLAY) 操作をしてください。

2 リモコンの (VIDEO) 、 (S-VIDEO) 、
(COMPUTER) ボタンを押す。



- 参考**
- 入力信号がないときは、青い画面（ブルーバック：工場出荷状態）が表示されます。
ビデオデッキやDVDプレーヤなどは再生 (PLAY) 操作をしてください。
 - ノートパソコンの画面がうまく投写できない場合
ノートパソコンの外部出力（モニタ出力）設定を外部に切り替えてください。
・ Windows の場合はファンクションキーを使います。
 [Fn] キーを押したまま (≡/□) などの絵表示や (LCD/VGA) の表示があるファンク
 ションキーを押すと切り替わります。しばらく（プロジェクトが認識する時間）する
 と投写されます。

【パソコンメーカーとキー操作の例】

[Fn] + [F3]	NEC、Panasonic、GATEWAY、SOTEC
[Fn] + [F4]	HP
[Fn] + [F5]	TOSHIBA、SHARP、MITSUBISHI
[Fn] + [F7]	SONY、IBM、HITACHI
[Fn] + [F8]	DELL、EPSON
[Fn] + [F10]	FUJITSU

通常、キーを押すごとに「外部出力」→「パソコン画面と外部の同時出力」→「パ
ソコン画面」…とくり返します。

表に記載されていないメーカーのノートパソコンをお使いの場合は、ノートパソ
コンのヘルプ、または取扱説明書をご覧ください。

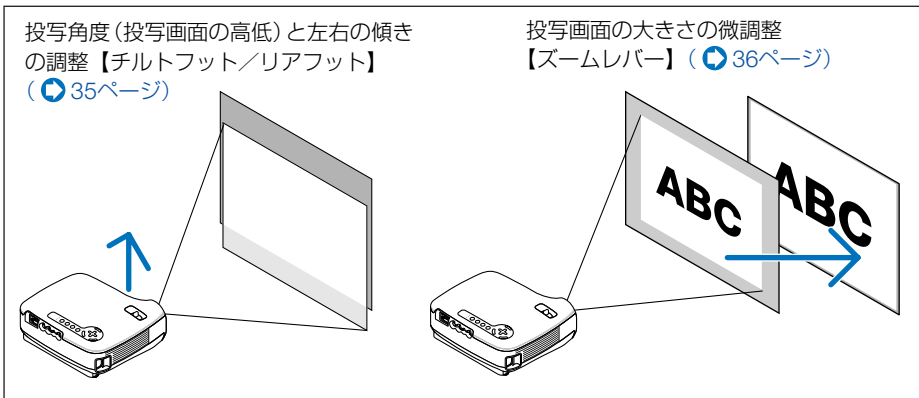
- ・ Macintosh PowerBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。

3
映像を投写する(基本操作)

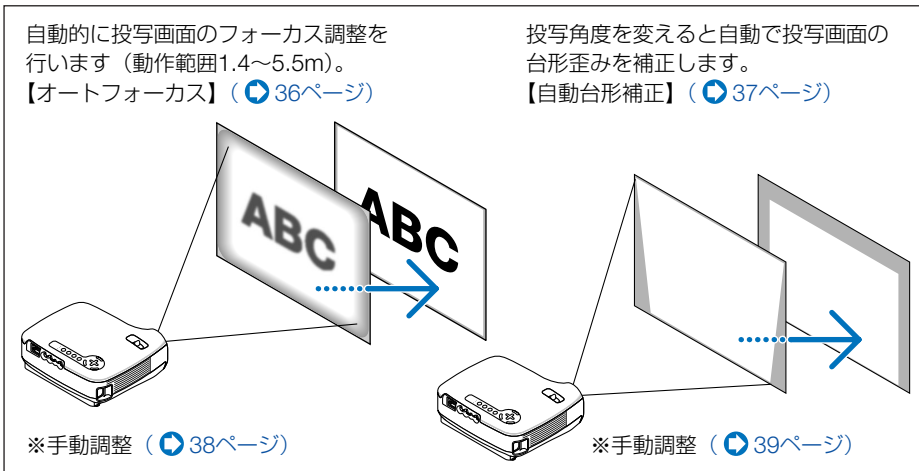
3-4. 投写画面の位置と大きさを調整する

チルトフットやズームレバーなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

●手動で調整



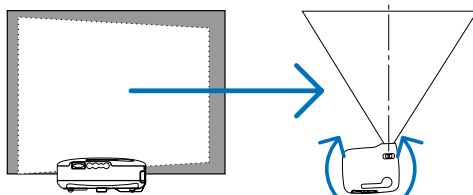
●自動で調整



※ ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

参考

水平方向の画面の歪みは、本体が横に向いていますので、スクリーンにまっすぐ向けてください。



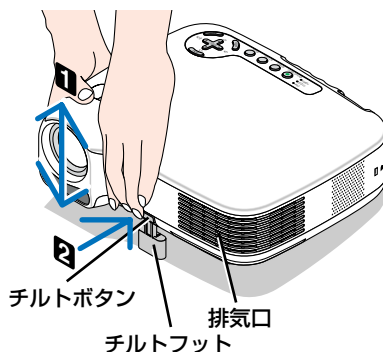
投写角度(投写画面の高低)と左右の傾き調整 (チルトフット／リアフット)

1 本機の前部を持ち上げスクリーンに合わせる。

- 注意**
- 投写中は排気口付近が高温になる場合があります。
チルトフット調整の際はご注意ください。

2 チルトボタンを押す。

チルトフットのロックが外れ、チルトフットが伸縮します。



3 角度を固定したいところでチルトボタンから指を離す。

チルトフットがロックされ、投写角度が固定されます。

上下位置を決めると約2秒後に台形歪みが自動的に補正されます。詳しい説明は37ページ「自動台形補正」をご覧ください。

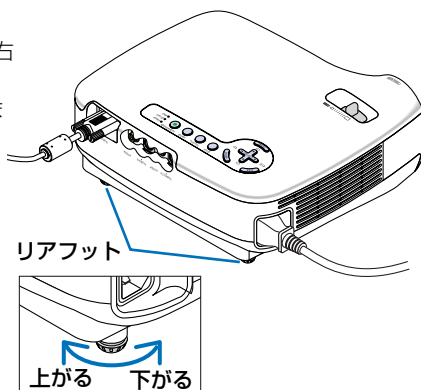
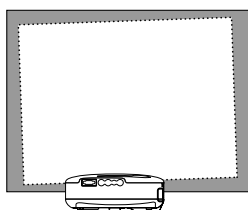
- ・チルトフットは、最大29mm伸ばすことができます。
- ・チルトフットにより、最大10°本機を傾けることができます。

- 注意**
- チルトフットは、本機の投写角度以外の用途には使用しないでください。
チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。

4 投写画面の左右が傾いている場合は、リアフットを回して微調整する。

リアフットを回すと、リアフットが伸縮し、左右の傾きを微調整できます。

- ・リアフットは、最大3mm伸ばすことができます。



3

映像を投写する(基本操作)

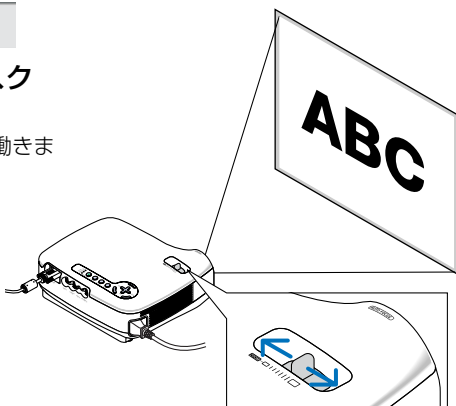
投写画面の大きさの微調整

① ズームレバーを左右に動かしてスクリーン一杯に投写する。

ズームレバーを回すとオートフォーカスが働きます。

詳しくは、このページの「オートフォーカス」をご覧ください。

- ・本体を前後に移動しても大きさが変わります。
- ・上下位置がずれた場合は、チルトフットを調整してください。



自動補正機能について

●オートフォーカス

フォーカスセンサ部とスクリーン間の距離を測定して投写画面のフォーカスを自動的に合わせます。これを「オートフォーカス」と呼びます。

- オートフォーカスは次のタイミングのときに働きます。

- ・電源を入れたとき
- ・ズームレバーを動かしたとき
- ・本体を動かしたとき
- ・投写角度を変えたとき

- スクリーン（4：3）に投写する場合の動作範囲

次の投写距離または画面サイズの範囲でオートフォーカスが働きます。

投写距離	画面サイズ	
	テレ（ズーム最小）	ワイド（ズーム最大）
1.4m（最短）	32型	39型
5.5m（最長）	124型	149型

約5.5mを超える設置や動作範囲以外の場合は、フォーカスを手動で合わせてください。

（☛ 38ページ）

注意

- スクリーンの色や環境条件によっては動作範囲が狭くなったり、正しく動作しない場合があります。
- 透過スクリーンでは誤動作します。
- フォーカスセンサ部とスクリーン間を障害物で遮られていると誤動作します。
- 本体をゆっくり移動させた場合は動作しません。
- スクリーンを移動させた場合は動作しません。

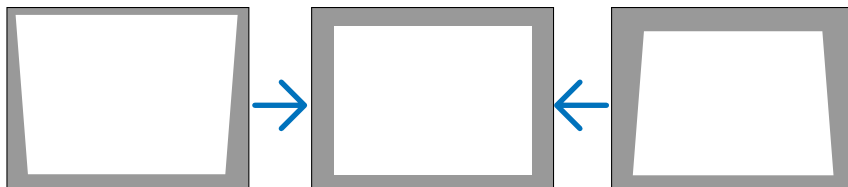
参考

- オートフォーカスを行いたくない場合は、オンスクリーンメニューの［セットアップオプション］→［オートフォーカス］を「オフ」に設定します。（☛ 62ページ）

●自動台形補正

通常、投写画面は、スクリーンに対して垂直に投写しないと、台形の歪みが生じます。このため、投写角度を調整すると、上下方向に傾きが生じ、画面が歪むこととなります。

しかし、本機の場合は、本体の上下の傾きを感知して、画面の歪みを自動的に補正します。これを「自動台形補正」と呼びます。



自動台形補正が正しく機能するよう設置の際は、以下の点をご確認ください。

- ・自動台形補正は、上下約16°の傾きにまで対応します。
- ・自動台形補正は、投写中、投写角度を固定してから約2秒後に行われます。
- ・左右の傾き（水平方向の画面の歪み）には、対応していません。
プロジェクタのレンズ面が、スクリーンに平行になるように設置してください。
また、リアフットは左右の高さが水平になるように調整してください。

注意

- スクリーンが傾いていたり、室温が極端に高温または低温のとき、またレンズのズームを最大または最小にしているときは、自動台形補正でちゃんと調整できない場合があります。
- 入力信号の種類およびアスペクトの設定によっては補正角度が少なくなる場合があります。
- [自動台形補正]は電氣的な補正を行っているため、細かい文字が見えにくくなる場合があります。

参考

- 自動台形補正を行いたくない場合は、オンスクリーンメニューの[セットアップ-全般] → [自動台形補正]を「オフ」に設定します。(👉59ページ)
「オフ」に設定した場合は、手動で台形補正を行ってください。(👉39ページ)

3-5. フォーカスを手動で調整する

オートフォーカスの動作範囲外に設置する場合、フォーカスを微調整する場合、オンスクリーンメニューの「オートフォーカス」を「オフ」に設定している場合はフォーカスを手動で調整します。

本体の操作ボタンで調整する

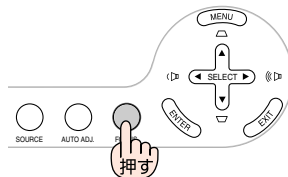
1 (FOCUS) ボタンを短く押す。

フォーカス調整画面が表示されます。

- ・ 約5秒間ボタン操作をしなければ、フォーカス調整画面は自動的に消えます。

↑
参考

- フォーカス動作範囲内のときは、(FOCUS) ボタンを2秒以上押すとオートフォーカスが働きます。

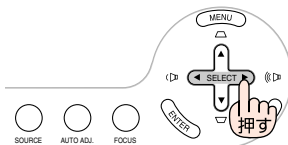


2 (SELECT ◀/▶) ボタンを押す。

フォーカスを調整します。

3 (EXIT) ボタンを押す。

フォーカス調整画面が消えます。



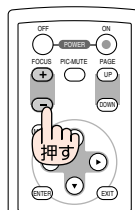
リモコンを使って調整する

1 (FOCUS +/-) ボタンを押す。

フォーカス調整画面が表示されます。

- ・ 約5秒間ボタン操作をしなければ、フォーカス調整画面は自動的に消えます。

(FOCUS +/-) ボタンを押して、フォーカスを調整します。



2 (EXIT) ボタンを押す。

フォーカス調整画面が消えます。

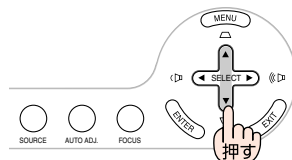
3-6. 台形歪みを手動で調整する

自動台形補正の結果を微調整する場合、オンスクリーンメニューの「自動台形補正」を「オフ」に設定している場合は、台形歪みを手動で調整します。

本体の操作ボタンで調整する

- 1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに、**(SELECT ▼/▲)** ボタンを押す。

調整バーが表示され、台形歪みが調整されます。



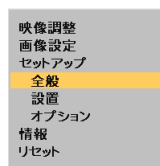
- 2 **(EXIT)** ボタンを押す。

調整バーが消えます。

リモコンを使って調整する

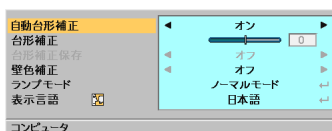
- 1 **(MENU)** ボタンを押す。

オンスクリーンメニューが表示されます。

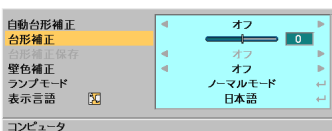


- 2 **(SELECT ▼)** ボタンを押して、[セットアップ-全般] にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。

全般画面が表示されます。

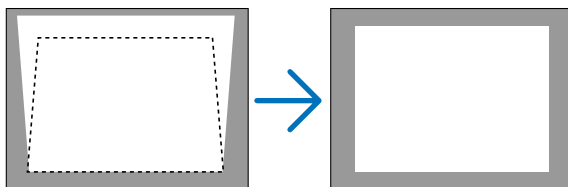


- 3 **(SELECT ▼)** ボタンを押して、[台形補正] にカーソルを合わせる。



- 4 **(SELECT ◀▶)** ボタンを押す。

画面の左右が垂直になるように調整します。



5 調整が終わったら、(EXIT) ボタンを2

回押す。

オンスクリーンメニューが消えます。



注意

- [台形補正] は電氣的な補正を行っているため、細かい文字が見えにくくなる場合があります。



参考

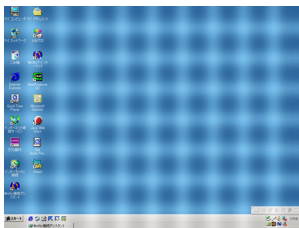
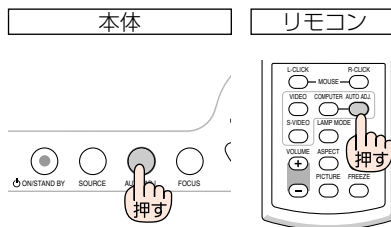
- [自動台形補正] を「オフ」に設定しているときに、手動で調整した値は、[台形補正保存] で保存しておくことができます。(🔗 59ページ)

3-7. 映像を自動調整する

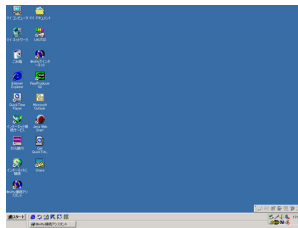
パソコンの画面を投写している場合、投写画面の端が切れていたり、映りが悪いときに、ワンタッチで画質を調整します。

1 (AUTO ADJ.) ボタンを押す。

しばらくすると投写画面の表示が自動調整されます。



【映りが悪い画面の例】



【自動調整後の画面の例】



参考

- 自動調整を行っても表示位置がずれていたり、画面に縦縞が出たりして映りが悪い場合は、手動で画面の調整を行ってください。(🔗 57ページ)
- パソコンの画面がうまく投写できない場合は、74ページを参照してください。

3-8. 本機の音量を調整する

本機の内蔵スピーカの音量を調整します。

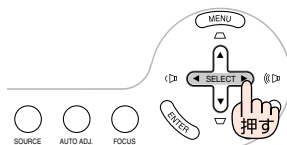
本体の操作ボタンで調整する

- 1** オンスクリーンメニューが表示されていないときに、**(SELECT ◀▶)** ボタンを押す。

調整バーが表示されます。

◀側…音量が大きくなります。

▶側…音量が小さくなります。

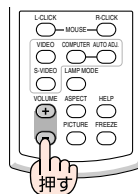


リモコンを使って調整する

- 1** リモコンの**(VOLUME +/-)** ボタンを押す。

+側…音量が大きくなります。

-側…音量が小さくなります。



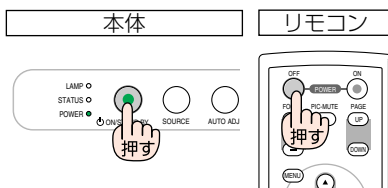
3

映像を投写する(基本操作)

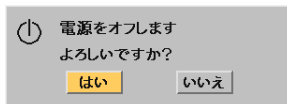
3-9. 本機の電源を切る

1 POWER (ON/STAND BY) ボタンを押す。

- ・リモコンで操作する場合は、POWER (OFF) ボタンを押します。



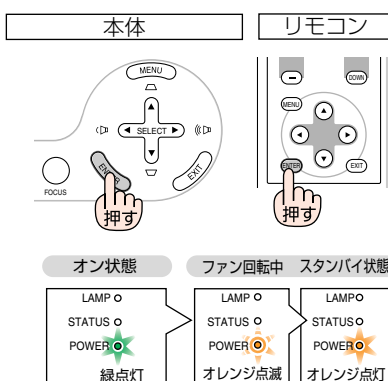
電源オフ確認メッセージが表示されます。



2 (ENTER) ボタンを押す。

ランプが消灯し、冷却ファンがしばらく回転します。冷却ファンの回転が終了すると、電源が切れPOWERインジケータがオレンジ色に変わります(スタンバイ状態)。

- ・(ENTER) ボタンの代わりに、(ON/STAND BY) ボタンまたは(OFF) ボタンを押しても、電源が切れます。
- ・電源を切らない場合は、(SELECT ◀▶) ボタンで「いいえ」を選んで(ENTER) ボタンを押します。



注意

- 投写中および冷却ファンの回転中にAC電源を切断すると、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。
- 投写中は、本機やコンセントから電源コードを抜かないでください。本機のAC IN端子や電源プラグの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中にAC電源を切断する場合は、テーブルトップのスイッチやブレーカなどを利用してください。

注意

- 各種の調整を行い調整画面を閉じたあと約10秒間は、AC電源を切断しないでください。この間にAC電源を切断すると、調整値が初期化されることがあります。

参考

- 本機の電源を切ったあとの冷却ファンの回転中は、電源プラグをコンセントから抜くことができます。

3-10. あとかたづけ

- ❶ 電源コードを取り外す。
- ❷ 各種信号ケーブルを取り外す。
- ❸ チルトフットを伸ばしていたら、もとに戻す。
- ❹ レンズにレンズキャップを取り付ける。
- ❺ 本機、および添付品を、ソフトケースに収納する。

 注意

- 本機をソフトケースに収納するときは次の点にご注意ください。故障の原因となります。
 - ・チルトフットを縮めてください。



注意

- 電源を切ったあとすぐに収納すると、本体がしばらく高温になります。取り扱いに注意してください。

3

映像を投写する(基本操作)

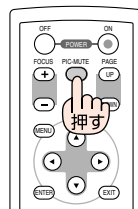
4. 便利な機能

4-1. 映像と音声を消去する

1 リモコンの (PIC-MUTE) ボタンを押す。

投写されている画像と、内蔵スピーカから出力されている音声が一時的に消えます。

- もう一度 (PIC-MUTE) ボタンを押すと、画像と音声が出ます。

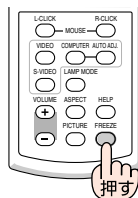


4-2. 動画を静止画にする

1 リモコンの (FREEZE) ボタンを押す。

ビデオの映像を投写しているときなど、動画が静止画になります。

- もう一度 (FREEZE) ボタンを押すと、動画に戻ります。



- (FREEZE) ボタンを押すと、押すときに投写されていた画像を静止画メモリに保存し、静止画メモリ内の画像 (静止画) を映します。静止画表示中、ビデオなどの映像再生は先に進行しています。

4-3. ランプモードを切り替える

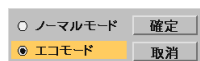
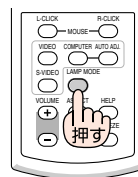
1 リモコンの (LAMP MODE) ボタンを押す。

ランプモード選択画面が表示されます。

2 (SELECT ▼/▲) ボタンでランプモードを選択し、(ENTER) ボタンを押す。

ランプモードが切り替わります。

- ランプモードをもとに戻す場合は、手順 **1 2** を繰り返します。



ノーマルモード	ランプの輝度が100%になります。明るい画面になります。
エコモード	ランプの輝度が次のようになります。ランプ交換時間(目安)*が延びます。 LT35J77% LT30J/ LT25J85%

※保証時間ではありません。

4-4. セキュリティを設定して無断使用を防止する

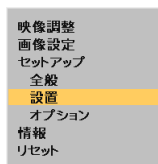
キーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

セキュリティを有効に設定すると、本機の電源を入れたときにキーワード入力画面が表示され、正しいキーワードを入力しなければ投写できなくなります。

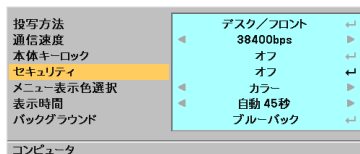
セキュリティを有効にする

- 1** (MENU) ボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。
- 2** (SELECT ▼/▲) ボタンで [設置] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

設置メニュー画面が表示されます。



- 3** (SELECT ▼/▲) ボタンで [セキュリティ] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。



- 4** (SELECT ▼) ボタンで「オン」を選択し、(ENTER) ボタンを押す。

キーワード登録画面が表示されます。



- 5** (SELECT ▼▲◀▶) ボタンの組み合わせでキーワードを設定し、(ENTER) ボタンを押す。

キーワードは4個以上10個以下の組み合わせで設定してください。





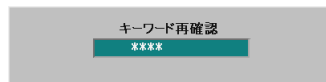
- キーワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

キーワードの再入力画面が表示されます。

6 5で設定したキーワードを再入力し、

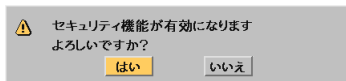
(ENTER) ボタンを押す。

確認画面が表示されます。



7 (SELECT ◀/▶) ボタンで [はい] を選択し、(ENTER) ボタンを押す。

セキュリティが有効になります。

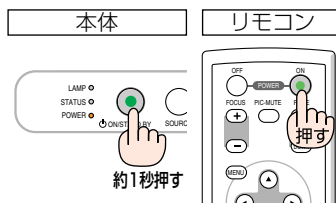


セキュリティを有効にしているときの電源の入れかた

1 POWER (ON/STAND BY) ボタンを約1秒押す。

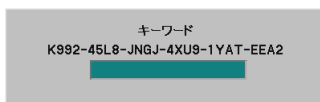
- ・リモコンで操作する場合は、POWER (ON) ボタンを約1秒押します。

本機の電源が入り、「セキュリティロック中です。キーワードを入力してください。」のメッセージが表示されます。



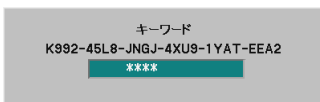
2 (MENU) ボタンを押す。

キーワード入力画面が表示されます。



3 キーワードを入力し、(ENTER) ボタンを押す。

セキュリティが一時的に解除され、選択している信号が投写されます。



- セキュリティの解除状態は、電源コードを抜くまで保持されます。

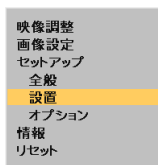
セキュリティを無効にする

1 (MENU) ボタンを押す。

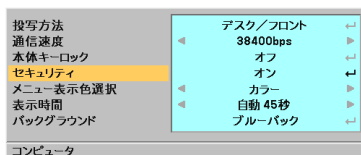
メニュー画面が表示されます。

2 (SELECT ▼/▲) ボタンで [設置] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

設置メニュー画面が表示されます。



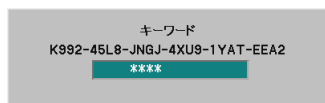
- 3** (SELECT ▼/▲) ボタンで[セキュリティ]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。



- 4** (SELECT ▲) ボタンで「オフ」を選択し、(ENTER) ボタンを押す。
キーワード登録画面が表示されます。



- 5** キーワードを入力し、(ENTER) ボタンを押す。
セキュリティが無効になります。



参考

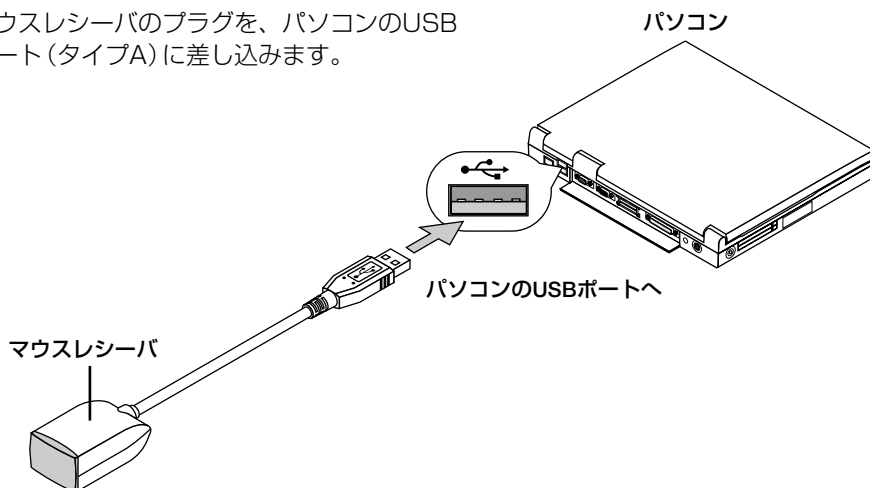
- キーワードを忘れたときの対処
キーワード入力画面に表示されるお問い合わせコード(英数文字24文字)を、お客様お問い合わせ窓口(NECプロジェクタ・カスタマサポートセンター)にご連絡ください。解除コードをお知らせします。

4-5. 本機のリモコンでパソコンのマウス操作を行う

添付のマウスレシーバをパソコンに接続すると、本機のリモコンでパソコンのマウス操作を行うことができます。

マウスレシーバの接続

マウスレシーバのプラグを、パソコンのUSBポート(タイプA)に差し込みます。



注意

- マウスレシーバは、次のOSにおいて使用できます。
Windows XP/Windows 2000/Windows Me/Windows 98
Mac OS X10.0.0以降
また、Windows XPのSP2より前のバージョンで使用する場合は、「マウスのプロパティ」内の「ポインタオプション」タブの「ポインタの精度を高める」のチェックボックスをオフに設定してください。
- パソコンのUSBポートからマウスレシーバのプラグを抜いて、再び差し込む場合は、抜いたあと5秒以上おいてから差し込んでください。瞬間的なプラグの抜き差しを行うと、パソコンが本機を正しく認識できないことがあります。

リモコンを使ったパソコンのマウス操作

リモコンで以下のマウス操作ができます。

- (PAGE UP/DOWN) ボタン …画面を上下にスクロールしたり、PowerPointの画面を切り替えます。
- (SELECT ▼▲◀▶) ボタン ……マウスポインタを移動します。
- (MOUSE L-CLICK) ボタン …マウスの左クリックの動きをします。
- (MOUSE R-CLICK) ボタン …マウスの右クリックの動きをします。

注意

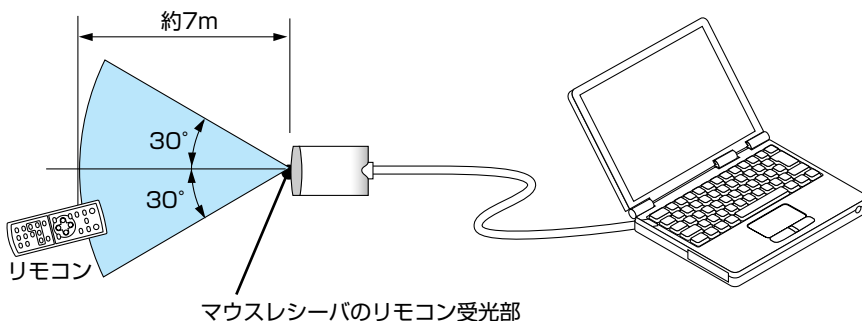
- 本機のオンスクリーンメニューを表示しているときに (SELECT ▼▲◀▶) ボタンでパソコンのマウス操作を行うと、メニューとマウスポインタの両方が動作します。オンスクリーンメニューを消した状態でマウス操作を行ってください。

参考

- マウスポインタの動く速さは、Windowsの「マウスのプロパティ」で調節することができます。詳しくは、パソコンのオンラインヘルプが取扱説明書をご覧ください。

リモコンの有効範囲

リモコン送信部をマウスレシーバのリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコン信号が受信できます。

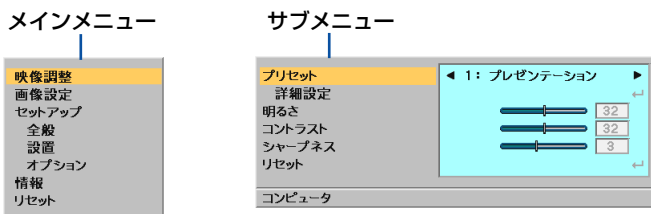


5. オンスクリーンメニュー

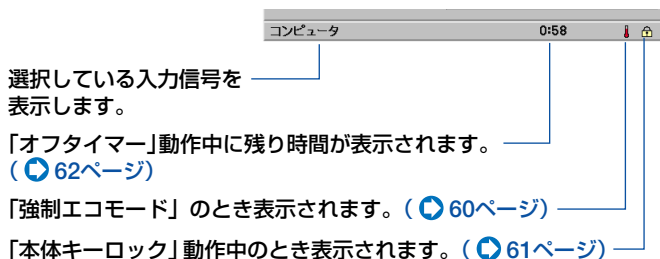
5-1. オンスクリーンメニューの基本操作

本機で投写する画像の画質調整や本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して行います。以降、「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。

メニューは、「メインメニュー」と「サブメニュー」から構成されています。



サブメニュー画面下部には、本機の状態を表すアイコン類が表示されます。

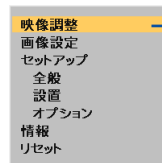
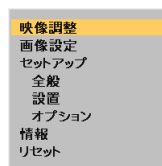


メニューを操作する

準備： 本機の電源を入れて、スクリーンに画像を投写してください。

- 1 (MENU) ボタンを押す。
メインメニュー画面が表示されます。

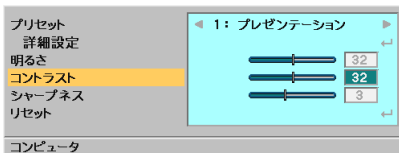
- 2 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して、メインメニューの設定したい項目にカーソル（オレンジ色の部分）を合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
サブメニュー画面が表示されます。
・ここでは、[映像調整] を選んでみます。



3 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して、サブメニューの設定したい項目にカーソルを合わせる。

•ここでは、[コントラスト]を選んでみます。

注意 ●入力信号によって、選択できない項目があります。(▶55ページ)



4 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して、コントラストを調整する。

•調整や設定の方法は、項目によって異なります。詳しくは、「項目の調整／設定方法」をご覧ください。(▶このページ)

5 他の項目も調整や設定をする場合は、手順**3****4**と同様に操作する。

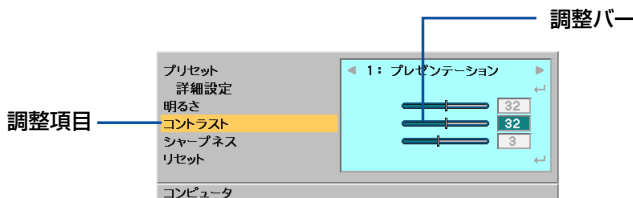
•メインメニューに戻る場合は、(EXIT) ボタンを押します。

6 調整が終わったら、(EXIT) ボタンを押す。
メニュー画面が消えます。

注意 ●メニューを表示した状態で45秒間（工場出荷時の設定）操作しないと、メニューは自動的に消えます。その場合、(MENU) ボタンを押すと、消える前の状態のメニューが表示できます。
●メニューが自動的に消えるまでの時間は変更することができます。(▶62ページ)

項目の調整／設定方法

●調整項目の場合



1 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して、調整する。

●ポップアップメニュー項目の場合

項目名の右側に「

- 1 項目名の右側に「

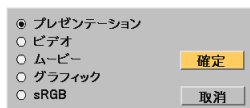
●ラジオボタンの選択

複数の選択肢から1つ「

- 1 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して、設定したい値に「

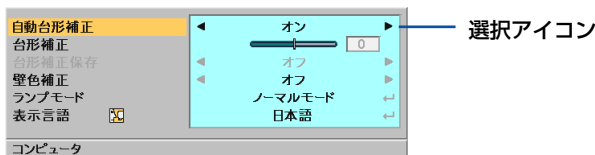
参考

- [確定] [取消] の表示がある場合
手順1の操作後、(SELECT ◀/▶) ボタンを押して、[確定]にカーソルを合わせて、(ENTER) ボタンを押します。
もとのメニューに戻ります。



●選択設定の場合

設定内容の左右に「◀」「▶」が表示されている場合は、(SELECT ◀/▶) ボタンを押して選択します。



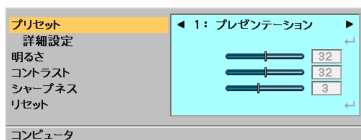
5-2. オンスクリーンメニュー一覧

は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	参照ページ
映像調整	プリセット	1.プレゼンテーション／2.ビデオ／3.ムービー／ 4.グラフィック／5.sRGB	54
	詳細設定	参照	プレゼンテーション／ビデオ／ムービー／ グラフィック／sRGB) 54
		ガンマ補正	ダイナミック/ナチュラル/ソフト 54
		色温度	55
		ホワイトピーキング	55
	明るさ		55
	コントラスト		
	シャープネス		
	カラー		
	色相		
	リセット		55
画像設定	アスペクト	ノーマル／シネマ／リアル	56
	シネマポジション		57
	位置・周波数	水平	57
		垂直	57
		クロック周波数	58
		位相	58
	ノイズリダクション	オフ／オン	58
セットアップ	テレシネモード	オフ／自動	58
	セッティング		
	全般	自動台形補正	オフ／オン 59
		台形補正	59
		台形補正保存	オフ／オン 59
		壁色補正	オフ／黒板／黒板 (グレー) ／ライトイエロー／ライトグリーン ／ライトブルー／スカイブルー／ライトローズ／ピンク 59
		ランプモード	ノーマルモード／エコモード 59
		表示言語	ページ1 English, Deutsch, Français, Italiano, Español, Svenska, 日本語 60
			ページ2 Dansk, Português, Čeština, Magyar, Polski, Nederlands, Suomi
			ページ3 Norsk, Türkçe, Русский, Ελληνικά, 中文, 한국어
	設置	投写方法	デスク/フロント／天吊り/リア／デスク/リア／ 天吊り/フロント 60
		通信速度	4800bps／9600bps／19200bps／38400bps 61
		本体キーロック	オフ／オン 61
		セキュリティ	オフ／オン 62
		メニュー表示色選択	カラー／モノクロ 62
		表示時間	手動／自動5秒／自動15秒／自動45秒 62
		バックグラウンド	ブルーバック／ブラックバック 62

オプション	オフタイマー	オフ／0：30／1：00／2：00／4：00／8：00／12：00／16：00		62
	オートフォーカス	オフ／オン		62
	オートスタート	オフ／オン／ラスト		63
	パワーマネージメント	オフ／0：05／0：10／0：20／0：30		63
	ファンモード	自動／高速		63
	信号選択	コンピュータ ビデオ S-ビデオ	RGB／コンポーネント／Scart 自動判別／NTSC3.58／NTSC4.43／PAL／PAL-M／PAL-N／PAL60／SECAM 自動判別／NTSC3.58／NTSC4.43／PAL／PAL-M／PAL-N／PAL60／SECAM	63
情報	使用時間	ランプ残量／ランプ使用時間／機器使用時間		64
	信号	水平同期周波数／垂直同期周波数／ビデオ標準／同期形態／同期極性／走査方式		
	Version	Firmware／Data		
リセット	表示中の信号			65
	全データ			
	ランプ時間クリア			

5-3. 映像調整



プリセット

投写した映像に最適な設定を選択します。

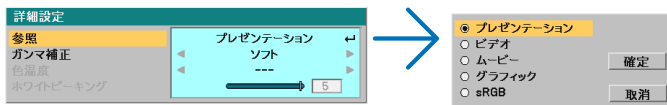
鮮やかな色調にしたり、淡い色調にしたり、ガンマ(階調再現性)を設定できます。本機の工場出荷時は、プリセット項目1～5に、あらかじめ次の設定がされています。また、[詳細設定]でお好みの色調およびガンマにするための細かな設定ができ、設定値をプリセット項目1～5に登録できます。

1:プレゼンテーション	PowerPointなどでプレゼンテーションを行うときに適した設定にします。
2:ビデオ	テレビ番組や一般的な映像ソースを投写するときに適した設定にします。
3:ムービー	映画を投写するときに適した設定にします。
4:グラフィック	グラフィック画面に適した設定にします。
5:sRGB	sRGBに準拠した色が再現されます。

参考

- 「sRGB」は、機器間の色再現の違いを統一するために、パソコンやモニタ、スキャナ、プリンタなどの色空間を規定・統一した国際標準規格です。1996年にHewlett-Packard社とMicrosoft社が策定し、1999年にIECの国際規格となりました。

●詳細設定



プリセット項目の1～5にお好みの調整値を登録します。

最初に、[参照]から調整のもととなるモードを選択し、ガンマ補正、色温度、ホワイトピーキングの項目について、設定を行います。

ガンマ補正

映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

ナチュラル	標準的な設定です。
ダイナミック	メリハリのある映像設定です。
ソフト	信号の暗い部分が鮮明になります。

色温度

色 (R, G, B) のバランスを調整して色再現性を最良にします。

10500 ↑ 5000	色温度が高くなり、青みがかった白になります。
	色温度が低くなり、赤みがかった白になります。

ホワイトピーキング

白の明るさを選択します。暗くしたほうがより自然な映像になります。

注意

- [参照] で「プレゼンテーション」を選択すると、[色温度]と[ホワイトピーキング]は変更できません。
- [壁色補正]を「オフ」以外に設定していると、[色温度]は変更できません。

明るさ／コントラスト／シャープネス／カラー／色相

スクリーンに投写している映像の調整を行います。

明るさ	映像を明るくしたり、暗くします。
コントラスト	映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。
シャープネス	映像をくっきりしたり、やわらかくします。
カラー	色を濃くしたり、淡くします。
色相	赤みがかった映像にしたり、緑がかった映像にします。

注意

- 各調整項目は入力信号によって調整できない場合があります。

入力信号	明るさ	コントラスト	シャープネス	カラー	色相
RGB (コンピュータ)	○	○	○	×	×
コンポーネント	○	○	○	△	△
ビデオ、S-ビデオ	○	○	○	○	○

(○：調整可、×：調整不可、△：信号によって調整不可の場合あり)

リセット

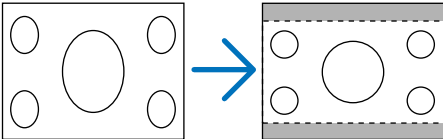
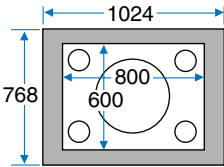
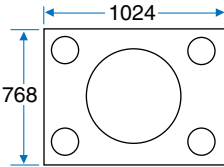
「映像調整」の調整および設定を工場出荷状態に戻します。

5-4. 画像設定



アスペクト

画面の縦横の比率、およびRGB信号を投写するときの表示解像度を選択します。

ノーマル	通常の画面サイズです。4：3の入力信号を4：3の画面サイズで映します。
シネマ	16：9のスクイーズ信号入力時、垂直方向を圧縮して16：9の画面サイズで映します。  スクイーズ なお、[シネマポジション] で表示領域の垂直位置を調整できます。 (57ページ)
リアル	RGB信号を入力機器の解像度のまま投写します。 [リアル]以外を選択している場合、RGB信号は本機の解像度（1024×768ドット）に自動的に拡大／縮小して投写します。 例：入力信号が800×600ドットの場合 [リアル]の場合  [リアル]以外の場合  注意 ● 次のような場合は[リアル]を選択できません。 ● RGB以外の信号を選択しているとき



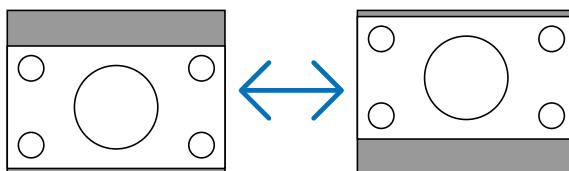
● 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機を使って映像を投写する場合、[アスペクト]の画面サイズ切り替え機能を使って画面の圧縮や引き伸ばしを行うと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害するおそれがあります。

参考

- ビデオ映像の標準アスペクト比4：3より横長の映像を、「レターボックス」と呼びます。映画フィルムのビスタサイズ1.85：1やシネマスコープ2.35：1のアスペクト比があります。
- アスペクト比16：9の映像を横方向にスクイーズ（圧縮）して4：3にした映像を、「スクイーズ」と呼びます。
- 本機の表示画素数より上の解像度（SXGAなど）の信号を表示した場合は、「リアル」を選択しても本機の表示画素数で表示されます。

シネマポジション

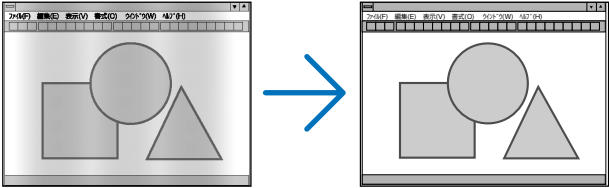
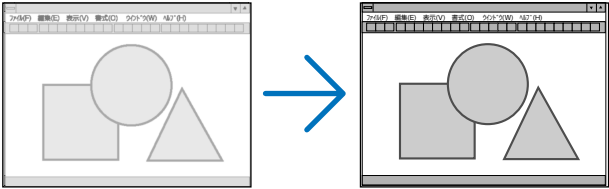
[アスペクト] で [シネマ] を選択しているとき、表示領域の垂直位置を調整します。



位置・周波数

RGB信号の表示位置と画素のずれの調整を手動で行います。

水平	画面を水平方向に移動します。
垂直	画面を垂直方向に移動します。

クロック周波数	画面の明るさが一定になる（明暗の縦帯が出なくなる）ように調整します。 
位相	画面の色ずれ、ちらつきが最小になるように調整します。 



- [クロック周波数]、[位相]を調整中に画面が乱れることがあります但故障ではありません。

ノイズリダクション

ビデオ信号と480iコンポーネント信号の映像のざらつきやジッター（文字などの微妙な揺れ）を低減させます。

工場出荷状態は、あらかじめ信号ごとに適した状態に設定されています。信号によって、映像のざらつきやジッターが気になる場合に設定します。

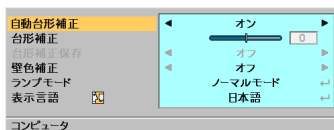
テレシネモード

映画などを映す場合に、本機のI-P変換処理モードを、テレシネ信号に最適なモードに自動切り替えるかしないかを設定します。

オフ	ブルダウン処理を強制的に無効にします。 テレシネ信号以外の信号を投写する場合に設定します。
自動	テレシネ信号か、そうでないかを判別し、自動的に最適なモードに切り替えます。

5-5. セットアップ

セットアップ—全般



自動台形補正

自動台形補正 (🔗37ページ) を行います。

オフ	手動で台形補正を行います。
オン	自動台形補正を行います。

台形補正

投写画面の台形歪みを手動で調整します。(🔗39ページ)

台形補正保存

[台形補正] で調整した調整値を保存します。電源を切っても調整値は失われません。

オフ	次に本機の電源を入れたときに、調整値を工場出荷状態に戻します。
オン	本体内部のメモリに調整値を保存します。

壁色補正

画像を投写する面がスクリーンではなく、部屋の壁などの場合、メニューから壁の色に近い項目を選択すると、壁の色に適応した色合いに補正して投写できます。

ランプモード

小さいスクリーンサイズで映して画面が明るすぎるときや、暗い室内で映す場合、ランプモードを「エコモード」にし、ランプ交換時間(目安)*を延ばすことができます。

ノーマルモード	ランプの輝度が100%になります。明るい画面になります。
エコモード	ランプの輝度が次のようになります。ランプ交換時間(目安)*が延びます。 LT35J77% LT30J/LT25J85%

※保証時間ではありません。



注意

- ノーマルモードで使用时、室温が高いことにより本機内部の温度が上昇すると、一時的にエコモードに切り替わることがあります。これは、本機の保護機能の一つで「強制エコモード」と呼びます。
強制エコモードになると、画面が少し暗くなり、メニュー画面の右下に「」アイコンが表示されます。
室温を下げたり、[ファンモード] ( 63ページ) を「高速」に設定したりすることにより、本機内部の温度が下がると、強制エコモードは解除され、ノーマルモードに戻ります。
強制エコモード中は、[ランプモード] の設定を変更しても、状態は変わりません。

表示言語

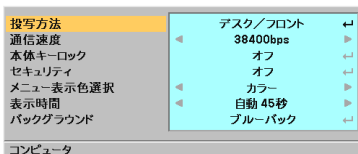
メニューに表示される言語を選択します。



参考

- 表示言語は、[リセット] を行っても変更されません。

セットアップ—設置



投写方法

本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。

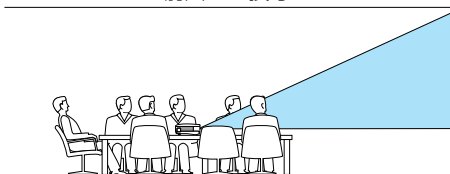


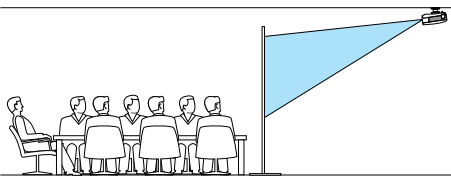
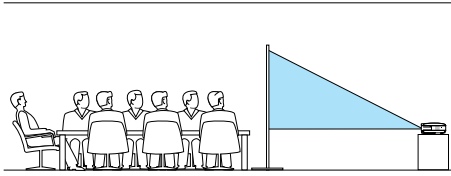
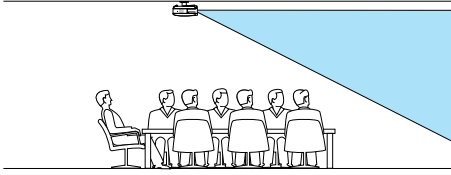
警告

天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買い上げの販売店にご相談ください。
お客様による設置は絶対にしないでください。
落下してけがの原因となります。

デスク／フロント

テーブルに設置してスクリーンの前面から投写



天吊り／リア	天井に設置してスクリーンの背面から投写 
デスク／リア	テーブルに設置してスクリーンの背面から投写 
天吊り／フロント	天井に設置してスクリーンの前面から投写 

通信速度

PCコントロール端子 (PC CONTROL) のデータ転送速度を選択します。
接続する機器と転送速度を合わせてください。

参考

- 通信速度は、[リセット] を行っても変更されません。

本体キーロック

プロジェクタ本体にある操作ボタンを動作しないようにします。

オフ	本体操作部のボタンが働きます。
オン	本体操作部のボタンがきかなくなります。

注意

- 本体操作ボタンがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。
- 本体操作ボタンがロックされているときに、本体の (EXIT) ボタンを約10秒間押すと、ロックが解除されます (本体キーロックの設定が無効になります)。

参考

- 本体キーロック中は、メニュー画面右下に「」アイコンが表示されます。

セキュリティ

キーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。セキュリティを有効にすると、本機の電源を入れたときにキーワード入力画面が表示され、正しいキーワードを入力しなければ映像は投写されません。(🔗45ページ)

オフ	セキュリティを無効にします。
オン	キーワードを設定してセキュリティを有効にします。



●セキュリティは、[リセット]を行っても解除されません。

メニュー表示色選択

本機のメニューをカラーで表示するか、モノクロで表示するかを選択します。

表示時間

メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動的に閉じるまでの時間を選択します。

バックグラウンド

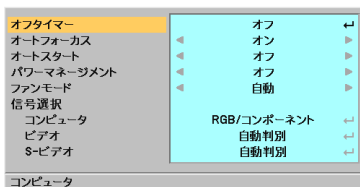
入力信号がないときの背景色を選択します。

ブルーバック	背景色が青色
ブラックバック	背景色が黒



●バックグラウンドは、[リセット]を行っても解除されません。

セットアップ—オプション



オフタイマー

オフタイマーを設定しておくで、本機の電源の切り忘れ防止になり、省エネになります。設定した時間後に本機の電源が切れます(スタンバイ状態になります)。

オートフォーカス

オートフォーカス機能(🔗36ページ)の入/切を設定します。

オフ	オートフォーカス機能は動きません。
オン	電源を入れる・ズームレバーを動かす・本体を移動させると自動的に投写画面のフォーカスを合わせます。

オートスタート

本機の電源プラグに電源が供給されると自動的に電源が入るように設定します。
本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。

オフ	電源が供給されるとスタンバイ状態になります。
オン	電源が供給されると電源が入ります。
ラスト	- 電源を切ったあとの冷却ファンの回転中、およびファン回転終了後に電源の供給を切断した場合の動作…… のちに本機に電源を供給したとき、スタンバイ状態になります（電源を入れるには (ON/STAND BY) ボタンやPOWER (ON) ボタンを押す必要があります）。 - 投写中に電源の供給を切断した場合の動作…… のちに本機に電源を供給したとき、自動的に電源が入ります（ (ON/STAND BY) ボタンやPOWER (ON) ボタンを押す必要がありません）。

パワーマネージメント

設定した時間（5分、10分、20分、30分）以上信号入力がないと自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態にします。

ファンモード

本機内部の温度を下げるための冷却ファンを、常に高速で回転させます。

自動	本機内部の温度センサにより、適切な速度で回転します。
高速	常に高速で回転します。



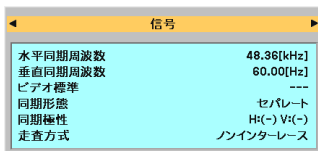
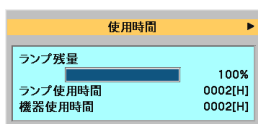
● 数日間連続して本機を使用する場合は、必ず「高速」に設定してください。

信号選択

コンピュータ映像入力端子 (COMPUTER IN)、ビデオ映像入力端子 (VIDEO IN)、S-ビデオ映像入力端子 (S-VIDEO IN) の信号モードの選択を行います。コンピュータで「RGB／コンポーネント」を選択すると、RGB信号とコンポーネント信号の自動判別を行います。

コンピュータ	通常は「RGB／コンポーネント」を設定します。 「Scart」は本機のコンピュータ映像入力端子 (COMPUTER IN) とヨーロッパで使用されているSCARTケーブルを接続する場合に選択します。
ビデオ／S-ビデオ	NTSCやPALなど、国によってテレビジョンの映像信号方式が異なります。 ビデオ映像入力端子 (VIDEO IN) およびS-ビデオ映像入力端子 (S-VIDEO IN) の入力信号の設定ができます。

5-6. 情報



入力選択されている入力信号の詳細、ランプ使用時間、本機の使用時間を表示します。

- 「使用時間」は、ランプ残量時間やランプ使用時間、機器使用時間の確認に使用します。
- 「信号」は、色が極端におかしかったり、画面が流れたり、映像が映らない場合、入力信号が本機に適しているかの確認に使用します。「対応解像度一覧」([🔗79ページ](#)) もあわせてご覧ください。
- 「Version」は機器のソフトウェアのバージョンを表示します。

参考

● ランプ残量／ランプ使用時間の表示について

本機にはエコモード機能があります。ノーマルモードとエコモードではランプの寿命が異なります。

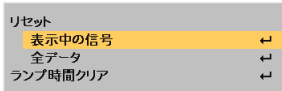
〔ランプ使用時間〕はランプの通算使用時間を示し、〔ランプ残量〕はランプの使用時間に対する残量をパーセントで表示しています。

- 0%になると画面上に「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」のメッセージが表示されます（メッセージは、投写中も表示され続けます）。新しいランプと交換してください。交換のしかたは「6-3.ランプの交換」([🔗68ページ](#))をご覧ください。
- ランプ交換時間(目安)*に到達（ランプ残量0%）後、〔ランプ残量〕表示は赤色の時間表示に変わります。このとき、〔ランプ残量〕表示は「100 (H)」と表示され、そのあとランプを投写しただけ時間がマイナスされていきます。そして〔ランプ残量〕表示が「0 (H)」になると、本機の電源が入らなくなります。

	ランプ使用時間		ランプ残量
	ノーマルモードでのみ使用 (最小)	エコモードでのみ使用 (最大)	
工場出荷時	0000時間		100%
ランプ交換時間 (目安)*	2000時間	2500時間	0%

※保証時間ではありません。

5-7. リセット



表示中の信号

表示中の信号について、調整した調整値が工場設定値になります。
リセットの処理には多少時間がかかります。

【リセットされるデータ】

[明るさ]・[コントラスト]・[シャープネス]・[カラー]・[色相]・[ノイズリダクション]・
[プリセット]・[アスペクト]・[水平]・[垂直]・[クロック周波数]・[位相]・[音量]・
[テレシネモード]

全データ

本機に記憶されているすべての調整・設定値が工場出荷状態になります。
リセットの処理には多少時間がかかります。

【リセットされないデータ】

[表示言語]・[セキュリティ]・[通信速度]・[ランプ残量]・[ランプ使用時間]・
[機器使用時間]・[バックグラウンド]

ランプ時間クリア

ランプ交換を行ったときに[ランプ残量]と[ランプ使用時間]をクリアします。



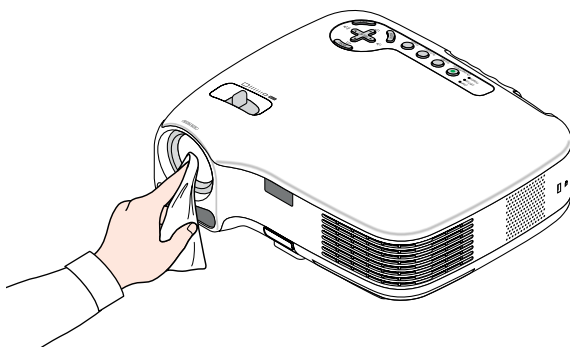
- ランプ時間は、[リセット]ではクリアされません。

6. 本体のお手入れ／ランプの交換

6-1. レンズとフォーカスセンサの清掃

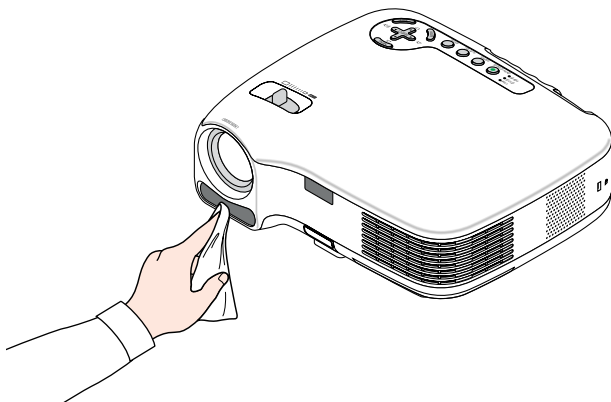
レンズの清掃

カメラのレンズと同じ方法で（市販のカメラ用ブローワーやメガネ用クリーニングペーパーを使って）クリーニングしてください。その際レンズを傷つけないようにご注意ください。



フォーカスセンサの清掃

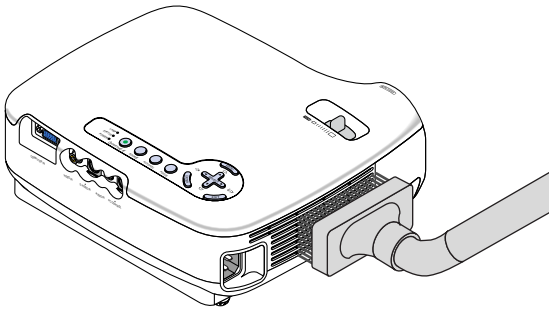
メガネ用クリーニングペーパーを使ってクリーニングしてください。フォーカスセンサ部のカバーが傷ついたり汚れていると正常なフォーカス調整ができなくなったり、オートフォーカスの動作範囲がせまくなります。



6-2. キャビネットの清掃

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 毛羽立ちの少ない柔らかい乾いた布でふいてください。
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風孔やスピーカ部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用して吸い取ってください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。



前面、側面の通気孔とスピーカ部のほこりを吸い取ります。

- 通風孔にほこりがたまると、空気のとおりが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに掃除をしてください。設置環境にもよりますが100時間を目安に掃除をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の掃除については、お買い上げの販売店またはNECプロジェクト・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

注意

- キャビネット、レンズおよびフォーカスセンサ部、スクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

6-3. ランプの交換

光源に使われているランプの使用時間がランプ交換時間（目安）*（[▶64ページ](#)）を超えるとLAMPインジケータが赤く点滅し、メッセージ「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」が画面上に表示されます。

この場合は光源ランプの交換時期ですので、新しいランプと交換してください。

なお、エコモードで使用している割合が多いとランプ交換時間（目安）*が延びます。したがってこの場合ランプ使用時間は延びることになります。現在のランプ使用残量の目安はオンスクリーンメニューの「情報（使用時間）」（[▶64ページ](#)）をご覧ください。

- 交換用ランプは販売店で求めください。ご注文の際は交換用ランプ形名LT35LP（LT35J用）、LT30LP（LT30J/LT25J用）とご指定ください。
- 指定のネジ以外は外さないでください。
- ランプハウスには、ランプ保護のためガラスが付いています。誤って割らないよう取り扱いには注意してください。
また、ガラス表面には触れないでください。輝度にかかわる性能劣化の原因となります。
- メッセージが表示されてもなお使用を続けると、ランプが切れることがあります。ランプが切れるときには、大きな音をとまって破裂し、ランプの破片がランプハウス内に散らばります。この場合は、お買い上げの販売店またはNECプロジェクト・カスタマサポートセンターに交換を依頼してください。
- 本機を天吊りで設置した状態でランプ交換を行う場合は、本機の下部に人が入らないように注意してください。ランプが破裂している場合に、ランプの破片が飛散するおそれがあります。
- ランプ交換時間（目安）*に到達後100時間を超えて使用すると、LAMPインジケータが赤く点灯するとともにスタンバイ状態になり電源が入らなくなります。

※保証時間ではありません。



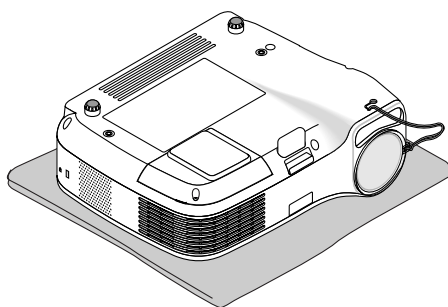
注意

ランプの交換は、電源を切りしばらく待って、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、約60分おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。

準備：プラスドライバーを用意します。

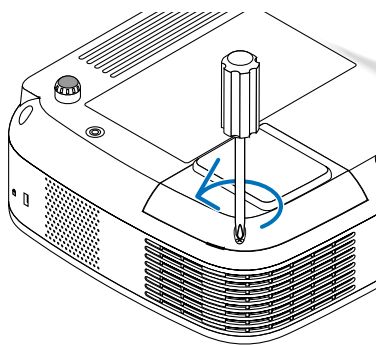
1 本機を裏返しにする。

傷つかないように、やわらかい布などを敷いた上に静かに置いてください。

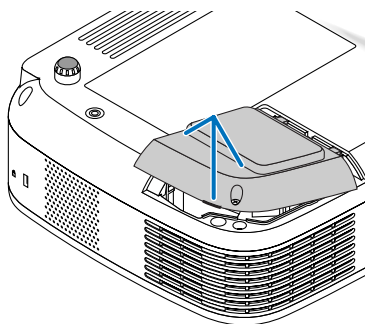


2 ランプカバーを外す。

- ① ランプカバーネジを左に空転するまでゆるめる。
ネジは外れません。

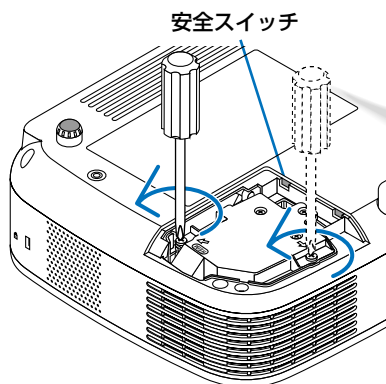


- ② ランプカバーを上へ持ち上げて外す。

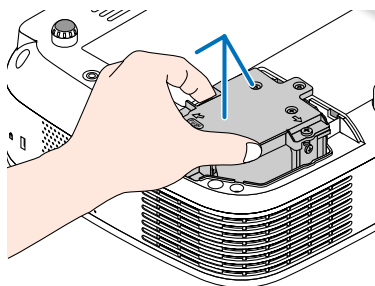


3 ランプハウスを外す。

- 1 ランプハウス固定のネジ（2箇所）を左に空転するまでゆるめる。
 - ・ネジは外れません。
 - ・本機には安全スイッチが付いています。安全スイッチには触れないでください。

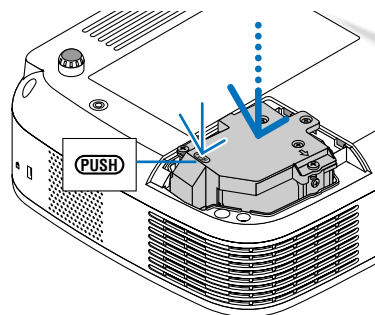


- 2 ランプハウスのつまみを指で挟んで持ち上げる。

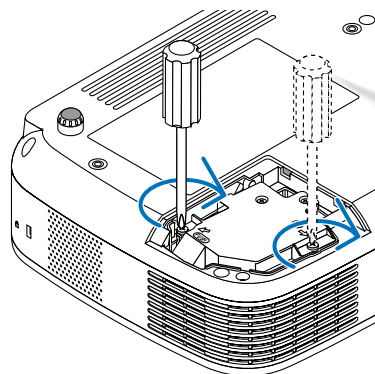


4 新しいランプハウスを取り付ける。

- 1 ランプハウスを静かに入れる。
- 2 (PUSH) と刻印された部分を押す。

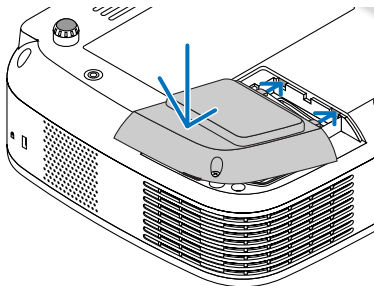


- 3 ランプハウス固定のネジ（2箇所）を右に回してしめる。
 - ・ネジは確実にしめてください。

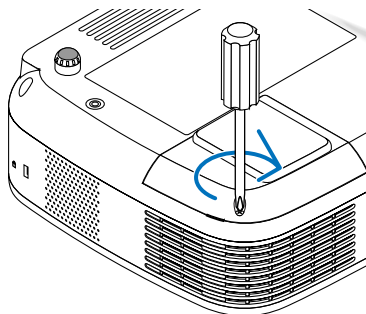


5 ランプカバーを取り付ける。

- ① ランプカバーのツメを本体のガイドに入れ、ランプカバーを閉める。



- ② ランプカバーネジを右に回してしめる。
・ネジは確実にしめてください。



6 本機をもとの状態に戻し、電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる。

7 ランプ残量とランプ使用時間をクリアする。

メニューの[リセット]の[ランプ時間クリア]を選択してください。(▶65ページ)
これで、ランプ交換が終わりました。

参考

- ランプ交換時間(目安)* (▶64ページ)に到達後100時間を超えて使用すると、電源が入らなくなります。その場合は、スタンバイ状態でリモコンの(Help) ボタンを10秒以上押し続けることで、ランプ残量とランプ使用時間をクリアできます。クリアされたかどうかは、LAMPインジケータが消灯することで確認できます。
※保証時間ではありません。

7. 付録

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかを確認ください。それでもなお異常なときはお買い上げの販売店またはNECプロジェクタ・カスタムサポートセンターにお問い合わせください。

現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	29ページ
	本体キーロック中ではありませんか。 本体キーロック中は、本体の操作ボタンはロックされて効きませんが、リモコンを使えば操作できます。	61ページ
	ランプカバーが正しく取り付けられていますか。	71ページ
	ランプ交換時間（目安）*を超えて使用していませんか。 新しいランプと交換してください。交換後、本機をスタンバイ状態にして、リモコンの（HELP）ボタンを10秒以上押し続けてください。 本機内部で管理しているランプ時間の値がクリアされ電源が入るようになります。 ※保証時間ではありません。	64ページ
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	76ページ
使用中に電源が切れる	オンスクリーンメニューの「オフタイマー」または「パワーマネージメント」を設定していませんか。	62ページ 63ページ
映像が出ない	接続している入力を選んでいますか。 本体またはリモコンの入力信号選択ボタンを再度押してください。	32ページ
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	25ページ
	〔映像調整〕の明るさ、コントラストが最小になっていませんか。	55ページ
	RGB（コンピュータ）入力の場合、標準信号以外の信号が入力されていませんか。	79ページ
	RGB（コンピュータ）入力の場合、画面調整を正しく行っていますか。	40ページ
	パソコンの画面がうまく投写できない場合は、74ページをご覧ください。	—
	各設定が正しく調整・設定されていますか。	52ページ
	それでも解決しない場合は、[リセット]を行ってみてください。	65ページ

	セキュリティが有効になっている場合は、本機の電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいたキーワードを入力しないと映像は投写されません。	46ページ
	ランプの消灯直後に電源を入れたときや、ランプの温度が高いときは、冷却のためにファンのみが回転し、映像が出るまでに時間がかかります。しばらくお待ちください。	—
映像が歪む	正しく設置されていますか。	34ページ
	台形状に歪む場合は台形補正を行ってください。	39ページ
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。	36ページ 38ページ
	投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。	35ページ
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	24ページ 77ページ
	投写距離がオートフォーカスの動作範囲を超えていませんか。また、動作条件を満たしていますか。	36ページ
	レンズなどが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れるとレンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	—
映像が突然暗くなった	室温が高いため、強制エコモードになっていませんか。 [ファンモード] を「高速」に設定するなどして、本機内部の温度が下がるようにしてください。	60ページ
水平または垂直方向に映像がずれて正常に表示されない	RGB (コンピュータ) 入力の場合、水平、垂直を正しく調整しましたか。	57ページ
	RGB (コンピュータ) 入力の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 パソコンの解像度を確認してください。	79ページ
RGB (コンピュータ) 入力で文字がチラついたり色がずれている	(AUTO ADJ.) ボタンを押してください。改善されない場合は、[クロック周波数] と [位相] を手動で調整してください。	40ページ 58ページ
リモコンで操作できない	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	22ページ
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	22ページ
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。	22ページ
	リモコンの有効範囲 (7m) を超えていませんか。	22ページ
インジケータが点滅する	インジケータ表示一覧をご覧ください。	75ページ

パソコンの画面がうまく投写できない場合

パソコンを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

●パソコンの起動のタイミング

パソコンと本機をRGB信号ケーブルで接続し、本機とコンセントを電源コードで接続して本機をスタンバイ状態にしてから、パソコンを起動してください。

特にノートパソコンの場合、接続してからパソコンを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。

参考

- 本機のメニューを表示して、[情報]→[信号]の「水平同期周波数」を確認してください。水平同期周波数が表示されていないときは、パソコンから外部出力信号が出力されていません。([64ページ](#))

●パソコンの起動後に操作が必要な場合

ノートパソコンの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります（ノートパソコン自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません）。

参考

- Windowsのノートパソコンの場合は、ファンクションキーを使って「外部」に切り替えます。
 - ・ **[Fn]** キーを押したまま () などの絵表示や (LCD/VGA) の表示があるファンクションキーを押すと切り替わります。しばらく (プロジェクタが認識する時間) すると投写されます。

【パソコンメーカーとキー操作の例】

[Fn] + [F3]	NEC、Panasonic、GATEWAY、SOTEC
[Fn] + [F4]	HP
[Fn] + [F5]	TOSHIBA、SHARP、MITSUBISHI
[Fn] + [F7]	SONY、IBM、HITACHI
[Fn] + [F8]	DELL、EPSON
[Fn] + [F10]	FUJITSU

通常、キーを押すごとに「外部出力」→「パソコン画面と外部の同時出力」→「パソコン画面」…とくり返します。

- ・ 表に記載されていないメーカーのノートパソコンをお使いの場合は、ノートパソコンのヘルプ、または取扱説明書をご覧ください。

●ノートパソコンの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートパソコンの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。

多くの場合、ノートパソコンの制限（パソコン自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない）によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整を行っても正常に表示されないことがあります。

前記の場合は、ノートパソコンの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする（液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い）操作を行うと、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

●Macintoshを起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Macintosh用信号アダプタ（市販品）を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Macintoshおよび本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなることがあります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを13インチ固定モードに設定し、Macintoshを再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起動してください。

●PowerBookと本機を同時に表示させる場合

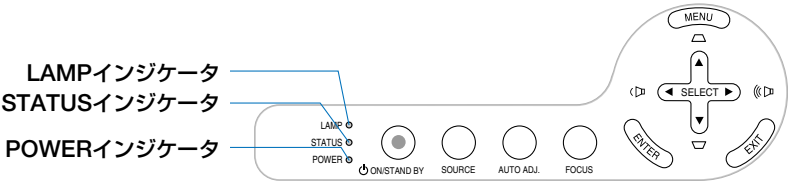
PowerBookディスプレイの「ビデオミラーリング」を「切」にしないと外部出力を1024×768ドットに設定できないことがあります。

●Macintoshの投写画面からフォルダなどが切れている場合

Macintoshに接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすることがあります。このような場合は、MacintoshのFinder画面で「option」キーを押した状態で「表示」→「整頓する」を選択してください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動します。

インジケータ表示一覧

本体操作部の3つのインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。



●POWERインジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		電源供給なし	—
点滅	緑色（0.5秒点灯／0.5秒消灯）	電源オン準備中	しばらくお待ちください。
	緑色（2.5秒点灯／0.5秒消灯）	電源オフタイマー動作中	—
	オレンジ色（0.5秒点灯／0.5秒消灯）	本体冷却中	しばらくお待ちください。
点灯	緑色	電源オン状態	—
	オレンジ色	スタンバイ状態	—

●STATUSインジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		異常なし	—
点滅	赤色 (1回周期)	カバー異常	ランプカバーが正しく取り付けられていません。正しく取り付けてください。(🔗 71ページ)
	赤色 (2回周期)	温度異常	温度プロテクタが動作しています。室温が高い場合は、本機を涼しい場所へ移動してください。
	赤色 (4回周期)	ファン異常	冷却ファンの回転が停止しています。販売店へ修理を依頼してください。
	赤色 (6回周期)	ランプ不点灯	ランプが点灯しません。60秒以上待って再度電源を入れてください。それでも点灯しない場合は販売店にご相談ください。
	緑色	ランプ再点灯処理中	ランプ再点灯処理中 (本体冷却中) です。しばらくお待ちください。
点灯	オレンジ色	本体キーロック中にボタンを押したとき	本体キーロック中です。操作する場合は、設定を解除する必要があります。(🔗 61ページ)

●LAMPインジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		異常なし	—
点滅	赤色	ランプ交換猶予時間中	ランプ残量が0%になり、ランプ交換の猶予時間 (100時間) 中です。すみやかにランプを交換してください。(🔗 68ページ)
点灯	赤色	ランプ使用時間超過	ランプ使用時間を超過しています。ランプを交換するまで本機の電源は入りません。(🔗 68ページ)
	緑色	ランプエコモード	—

●温度プロテクタが働いたときは

本機内部の温度が異常に高くなると、ランプが消灯し、STATUSインジケータが点滅します (2回点滅の繰り返し)。

このようなときは、以下のことを行ってください。

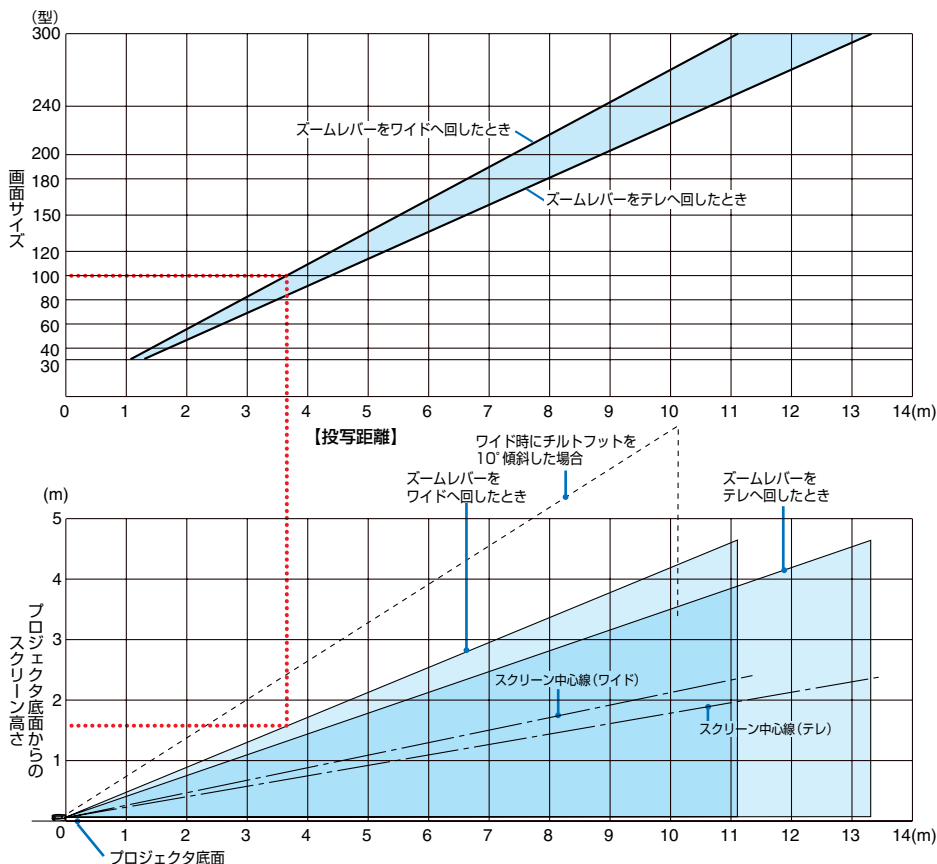
- ・冷却ファンの回転が終了したら、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- ・通風孔にほこりがたまっていたら、掃除してください。(🔗 67ページ)
- ・本機内部の温度が下がるまで、約60分間そのままにしてください。

投写距離とスクリーンサイズ

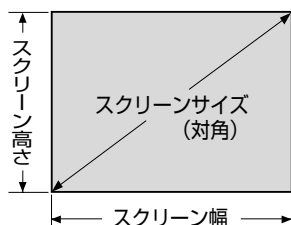
この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、どのくらいのスクリーンを用意すればいいのか、また、目的の大きさで映すにはどのくらいの距離が必要かを知りたいときの目安にしてください。

投写距離

フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から1.1m（30型の場合）～13.3m（300型の場合）です。この範囲で設置してください。



スクリーンサイズと寸法表



サイズ (型)	スクリーン幅 (cm)	スクリーンの高さ (cm)
30	61.0	45.7
40	81.3	61.0
60	121.9	91.4
80	162.6	122.0
100	203.2	152.4
120	243.8	182.9
150	304.8	228.6
180	365.8	274.3
200	406.4	304.8
240	487.7	365.8
300	609.6	457.2

デスクトップの例

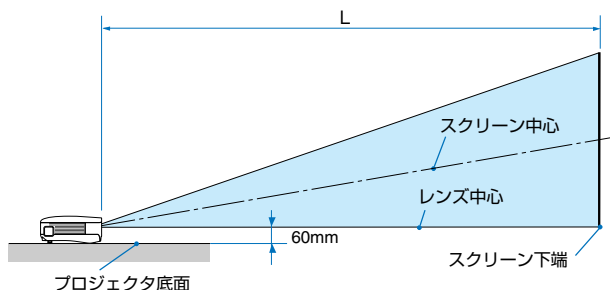
下の図はデスクトップで使用する時の例です。

水平投写位置……レンズを中心に左右均等

垂直投写位置……（下表参照）

スクリーン サイズ (型)	投写距離 L (m)	
	ワイド時	テレ時
30	1.07	1.29
40	1.45	1.74
60	2.19	2.63
80	2.93	3.52
100	3.68	4.41
120	4.42	5.30
150	5.54	6.64
180	6.65	7.98
200	7.40	8.87
240	8.89	10.65
300	11.12	13.32

※レンズ中心位置がスクリーンの下端になります。



参考

- 設計値のため、±5%の誤差があります。

対応解像度一覧

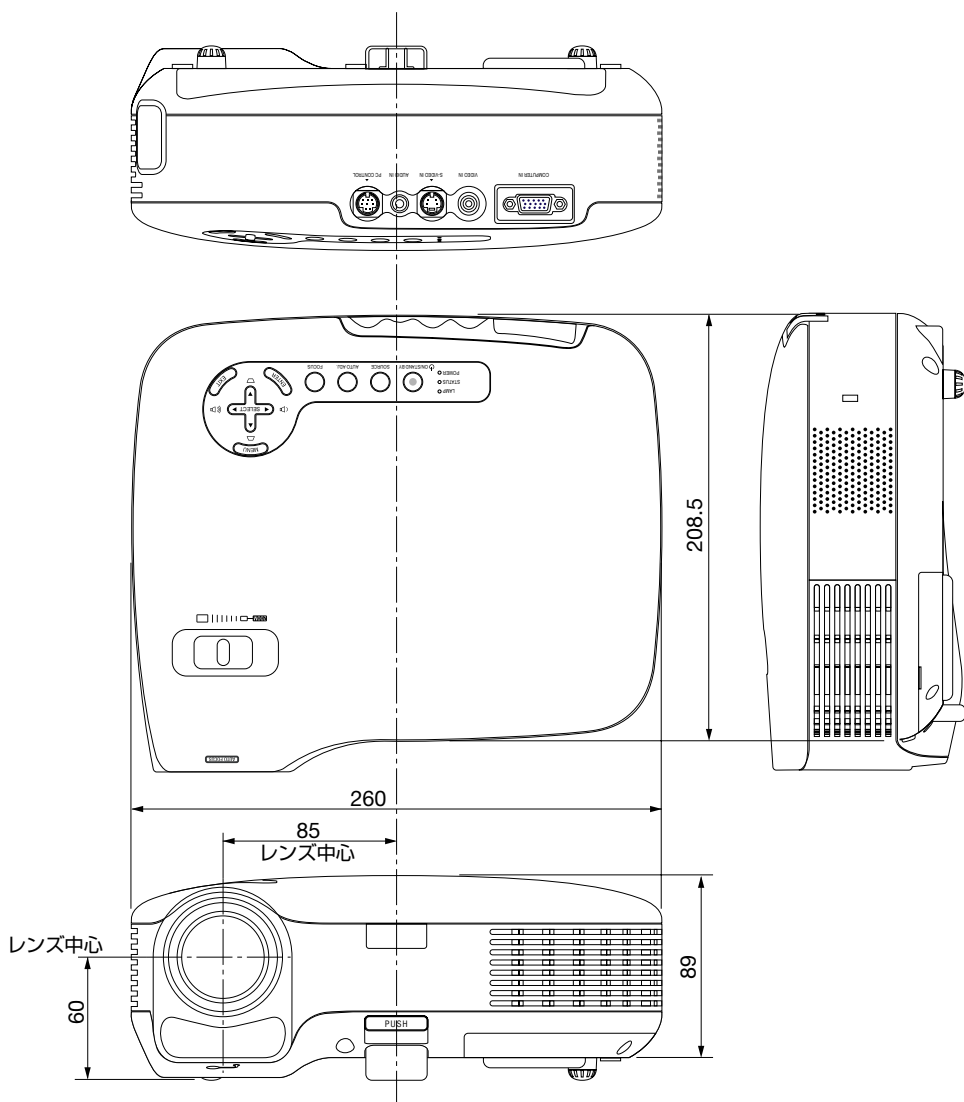
機種		解像度	走査周波数		対応状況
			水平 (kHz)	垂直 (Hz)	
ビデオ	NTSC/PAL60	—	15.734	60.0	◎
	PAL/SECAM	—	15.625	50.0	◎
IBM PC/AT互換機		640 × 480	31.5	60.0	◎
		640 × 480	37.9	72.8	◎
		640 × 480	37.5	75.0	◎
		640 × 480	39.4	75.0	◎
		640 × 480	43.3	85.0	◎
		720 × 350	31.5	70.1	◎
		800 × 600	35.2	56.3	◎
		800 × 600	37.9	60.3	◎
		800 × 600	46.9	75.0	◎
		800 × 600	48.1	72.2	◎
		800 × 600	53.7	85.1	◎
		1024 × 768	48.4	60.0	◎
		1024 × 768	56.5	70.1	◎
		1024 × 768	60.0	75.0	◎
		1024 × 768	68.7	85.0	◎
		1152 × 864	67.5	75.0	○
		1280 × 960	60.0	60.0	○
		1280 × 1024	64.0	60.0	○
		1400 × 1050	—	60.0	○
Apple Macintosh®		640 × 480	35.0	66.7	◎
		832 × 624	49.7	74.6	◎
		1024 × 768	60.2	74.9	◎
		1280 × 1024	69.9	65.2	○
SUN		1152 × 900	61.8	66.0	○
HDTV	1080i	1920 × 1080	28.1	50.0	○
		1920 × 1080	33.8	60.0	○
	720p	1280 × 720	37.5	50.0	○
		1280 × 720	45.0	60.0	○
SDTV	480p	—	31.5	59.9	◎
	576p	—	31.3	50.0	◎
DVD	YCbCr	—	15.7	60.0	◎
		—	15.6	50.0	◎

- ・出荷時はその表示解像度／周波数の標準的な信号に合わせていますが、パソコンの種類によっては調整が必要な場合があります。
- ・ワークステーションとの接続に関する詳細は、当社にお問い合わせください。
- ・コンポジット同期信号などの場合は、正常に表示できない場合があります。

- ・圧縮表示の場合、文字や罫線の太さなどが不均一になる場合があります。
- ◎：リアル表示
- ：圧縮表示により対応

外觀圖

單位：mm

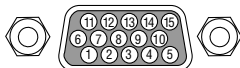


関連商品一覧

商 品 名		形 名
ランプ	交換用ランプ (LT35J)	LT35LP
	交換用ランプ (LT30J/LT25J)	LT30LP
天吊り金具	天井取付けユニット	LT30CM
スクリーン	100型広視野角スクリーン	VL-S100E
	100型ハイコントラストスクリーン	VL-NS100B
	80型広視野角スクリーン	VL-S80E
	80型ハイコントラストスクリーン	VL-NS80B
	60型広視野角スクリーン	VL-S60E
	60型ハイコントラストスクリーン	VL-NS60B
	60型/80型共通ハイコントラストスクリーンスタンド*	VL-NS6080ST
	40型広視野角スクリーン	VL-S40
置き台	専用置き台	VL-T6
スイッチャ	RGB信号入力切替ユニット	VL-SW401
ケーブル	マルチシンク10mケーブル	VL-CA10MD
	アナログRGB信号ケーブル (1.8m)	VL-CA02MD
	コンポーネントビデオ接続ケーブル (3m)	VL-CA03V
アダプタ	コンポーネントビデオ変換アダプタ	ADP-CV1
	D端子変換アダプタ	ADP-DT1
マウスレシーバ	マウスレシーバ	NP01MR

コンピュータ映像入力端子のピン配列と信号名

各ピンの接続と信号レベル



信号レベル

ビデオ信号 : 0.7Vp-p (アナログ)

同期信号 : TTLレベル

ピン番号	RGB信号 (アナログ)	YCbCr 信号
1	赤	Cr
2	緑またはシンクオングリーン	Y
3	青	Cb
4	接 地	
5	接 地	
6	赤 接 地	Cr 接 地
7	緑 接 地	Y 接 地
8	青 接 地	Cb 接 地
9	非接続	
10	同期信号 接 地	
11	SCART同期入力*1	
12	Bi-directional DATA (SDA)	
13	水平またはコンポジット同期	
14	垂直同期	
15	Data Clock	

*1 ヨーロッパで使用されているSCARTケーブル用の同期入力です。

トラブルチェックシート

本シートはトラブルに関するお問い合わせの際、迅速に故障箇所を判断させていただくためにご記入をお願いするものです。本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。それでもトラブルが回避できない場合、本シートをご活用いただき、具体的な症状をNECプロジェクタ・カスタムサポートセンターの受付担当者へお伝えください。

※このページと次のページを印刷してお使いください。

発生頻度 ☐ 常時 ☐ 時々 (☐ 回中 ☐ 回) ☐ その他 ()

電源関係

- | | |
|--|--|
| ☐ 電源が入らない (POWERインジケータが緑色に点灯しない)。 <ul style="list-style-type: none">☐ 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。☐ ランプカバーは正しく取り付けられている。☐ ランプを交換した場合、ランプ時間をクリアした。☐ (POWER) ボタンを約1秒以上押しても電源が入らない。 | ☐ 使用中、電源が切れる。 <ul style="list-style-type: none">☐ 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。☐ ランプカバーは正しく取り付けられている。☐ パワーマネージメント機能がある機種においてパワーマネージメントは「オフ」に設定されている。☐ オフタイマー機能がある機種においてオフタイマーは「オフ」に設定されている。 |
|--|--|

映像・音声関係

- | | |
|--|---|
| ☐ パソコンの画面が投写されない。 <ul style="list-style-type: none">☐ パソコンと本機を接続したあとにパソコンを起動してもなおらない。☐ ノートパソコンにおいて外部出力信号が出力されている。
IBM PC/AT互換機の場合は、[Fn]キー+[F1]~[F12]キーのいずれかを押しと外部出力信号が出力されます(パソコンによって異なります)。 | ☐ 映像が切れる。 <ul style="list-style-type: none">☐ (AUTO ADJ.) ボタンを押してもなおらない。☐ [リセット] を実行してもなおらない。☐ 水平または垂直方向に映像がずれる。☐ コンピュータ映像入力の場合、水平・垂直位は正しく調整されている。☐ 入力は対応している解像度・周波数の信号である。☐ 数ドット欠けている。 |
| ☐ 映像が出ない (ブルーバック・ブラックバック)。 <ul style="list-style-type: none">☐ (AUTO ADJ.) ボタンを押してもなおらない。☐ [リセット] を実行してもなおらない。☐ 入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。☐ 画面に何かメッセージが出ている。
()☐ 接続している入力を選択している。☐ 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。☐ 入力は対応している解像度・周波数の信号である。 | ☐ 映像がチラつく。 <ul style="list-style-type: none">☐ (AUTO ADJ.) ボタンを押してもなおらない。☐ [リセット] を実行してもなおらない。☐ コンピュータ映像入力で文字がチラついたり、色がずれている。 |
| ☐ 映像が暗い。 <ul style="list-style-type: none">☐ 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。 | ☐ 映像がぼやける・フォーカスが合わない。 <ul style="list-style-type: none">☐ オートフォーカス設定は「オン」に設定されている。☐ フォーカスセンサ部とスクリーン間に障害物はない。☐ 投写距離が1.4~5.5m以内である。☐ 手で調整しても合わない。 |
| ☐ 映像が歪む。 <ul style="list-style-type: none">☐ 台形に歪む (台形補正を実行してもなおらない)。 | ☐ 音が出ない。 <ul style="list-style-type: none">☐ 音声入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。☐ 音量を調整してもなおらない。 |

その他

- | | |
|---|--|
| ☐ リモコンが効かない。 <ul style="list-style-type: none">☐ リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。☐ 蛍光灯の近くに本体が設置されている。 | ☐ 本体操作パネルのボタンが効かない。
[本体キーロック] 設定のある機種において <ul style="list-style-type: none">☐ 本体キーロック設定は「オフ」に設定されている。☐ 本体の (EXIT) ボタンを10秒以上押してもなおらない。 |
|---|--|

症状を具体的に記入してください。

使用状況・環境

プロジェクタ

形名：☐ LT35J/☐ LT30J/☐ LT25J

製造番号：

購入時期：

ランプ使用時間：

ランプモード：☐ ノーマル ☐ エコ

入力信号情報：

水平同期周波数 [kHz]

垂直同期周波数 [Hz]

同期極性 H ☐ (+) ☐ (−)

V ☐ (+) ☐ (−)

同期形態 ☐ セパレート ☐ ミックス

☐ Gシンク

STATUSインジケータの状態

点灯 (オレンジ・緑)

点滅 (回周期)

設置環境

スクリーンサイズ：

型

タイプ：☐ ホワイトマット ☐ ビーズ ☐ 偏光

☐ 広視野角 ☐ ハイコントラスト

投写距離： m

投写方法：☐ 天吊り ☐ 床置き

電源コンセントは？

☐ 壁からのコンセントを直接利用している。

☐ 電源用テーブルタップを利用している。

(他、接続機器の数： 台)

☐ 電源ドラム (ロール式) を利用している。

(他、接続機器の数： 台)

コンピュータ

メーカー：

形名：

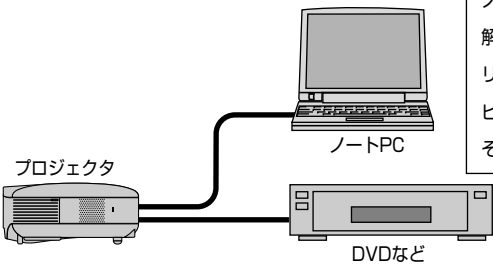
ノートPC・デスクトップ型

解像度：

リフレッシュレート：

ビデオボード：

その他：



信号ケーブル

純正・その他

(形名： 長さ： m)

分配器

形名：

スイッチャ

形名：

アダプタ

形名：

接続機器

ビデオ・DVD・カメラ・ゲーム・その他

メーカー：

形名：

仕様

形名		LT35J/LT30J/LT25J
方式		単板DMD反射方式
主要部品仕様	DMDパネル	サイズ 0.7型 (アスペクト比 4:3)
		画素数(*1) 786,432画素 (1024ドット×768ライン)
	投写レンズ	ズーム マニュアル (1~1.2倍、f=25.7~30.8mm)
		フォーカス オートフォーカス (動作範囲: 1.4~5.5m) / 電動フォーカス
	光源	LT35J : 220W ACランプ (ランプエコモード時170W) LT30J/LT25J : 200W ACランプ (ランプエコモード時170W)
光学装置		カラーフィルタ回転による色分離
画面サイズ (投写距離)		30~300型 (1.1m~13.3m)
色再現性		フルカラー1,677万色
音声出力		1W モノラルスピーカ内蔵
走査周波数	水平	15~100kHz (RGB入力は24kHz~100kHz)
	垂直	50~85Hz
調整機能		マニュアルズーム、オートフォーカス/電動フォーカス、 入力信号切替 (コンピューター/ビデオ/S-ビデオ)、自動台形補正、 画面位置調整、ミュート (映像/音声とも)、オンスクリーン表示/選択など
最大表示解像度 (横×縦)		1400×1050 (圧縮表示による対応)
入力信号	R,G,B,H,V	
	RGB : 0.7Vp-p / 75Ω 正極性	
	Y : 1.0Vp-p / 75Ω 正極性	
	Cb,Cr (Pb, Pr) : 0.7Vp-p / 75Ω	
	H/V Sync : 4.0Vp-p / TTL 正極性 / 負極性	
	Composite Sync : 4.0Vp-p / TTL 正極性 / 負極性	
	Sync on G : 0.3Vp-p / 75Ω (With Sync) 負極性	
入出力端子	コンボジットビデオ	
	S-ビデオ	
	コンポーネント	
	音声	
	コンピュータ	映像入力 ミニD-Sub 15ピン×1
		音声入力 ステレオミニジャック×1
	ビデオ	映像入力 RCA×1
S-ビデオ	音声入力	ステレオミニジャック×1 (コンピュータと共用)
	映像入力	ミニDIN 4ピン×1
	音声入力	ステレオミニジャック×1 (コンピュータと共用)
PCコントロール端子		ミニDIN 8ピン×1
水平解像度		NTSC : 540TV本
使用環境		動作温度 : 5~40℃(*2) 動作湿度 : 20~80% (ただし結露しないこと) 保存温度 : -10~50℃ 保存湿度 : 20~80% (ただし結露しないこと)
電源		AC 100V 50/60Hz(*3)
消費電力		LT35J : ランプノーマルモード時 : 280W、ランプエコモード時 : 230W LT30J/LT25J : ランプノーマルモード時 : 260W、ランプエコモード時 : 230W
スタンバイ時消費電力		8W
定格入力電流		LT35J : 3.1A、LT30J/LT25J : 2.8A
外形寸法		260(幅)×89(高)×208.5(奥行)mm (突起部含まず)
質量		約2.0kg

(*1) : 有効画素数は99.99%です。

(*2) : 35~40℃は「強制エコモード」になります。

(*3) : 高調波電流回路 JIS C 61000-3-2 適合品です。

●この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

保証と修理サービス(必ずお読みください)

保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

●保証期間

- ・本体：お買い上げ日から1年間です。
- ・本体に付属のランプ：次の(1)と(2)の早いほうまでです。
 - (1) お買い上げから6か月間。
 - (2) ランプ残量(➡64ページ)が50%になるまで。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このプロジェクトの補修用性能部品を製造打切後、最低8年保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問はお買い上げの販売店またはNECプロジェクト・カスタマサポートセンターにお願いいたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(➡72ページ)に従って調べていただき、あわせて「トラブルチェックシート」(➡82、83ページ)で現象を確認してください。

その上でなお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはNECプロジェクト・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

●保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	NECデータプロジェクト
形名	LT35J/LT30J/LT25J
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

べんりメモ	お買い上げ店名	☎() -
-------	---------	--------

修理料金の仕組み

- ・技術料
故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
+
- ・部品代
修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
+
- ・引取費用
製品を引き取りするための費用です。

海外でご使用になる場合:トラベルケアのご紹介

この商品には、NECビューテクノロジーの国際保証「トラベルケア」が適用されています。

なお、このトラベルケアの内容は、お買い上げ時に、本機に添付された保証書の記載内容とは一部異なります。

トラベルケアで受けられるサービス

本保証では、出張や旅行などの理由により一時的に海外に本機を持ち出した場合につき、本書に記載された国のNECビューテクノロジー指定サービスステーションで下記のサービスを受けることができます。

本サービスをご利用の際は、本書記載のトラベルケア窓口リストの各サービスステーションに電話もしくはEメールにてご連絡いただいたあと、巻末に添付されている申し込み用紙"Application Sheet for TravelCare Service Program" に必要事項をご記入のうえ、FAXにて送信してください。

各サービスステーションのサービス内容については、トラベルケア窓口リストにてご確認ください。

1 修理サービス

輸送期間を除く、実働10日以内に修理してお届けいたします。

保証期間内の場合は、保守部品代、修理工賃、および各サービスステーションの対応地域内のお届けにかかる輸送費が保証範囲です。

2 代替機貸出サービス

お客様の製品修理の間、ご希望があれば有償にて代替機を貸し出しいたします。

料金：12日間US\$ 200 -

料金は、現地のサービスステーションにて現金またはクレジットカードにてお支払いください。

代替機は、実働3日以内にお届けいたします。

ただし、本サービスが受けられない国または地域がございますので、トラベルケア窓口リストにてご確認ください。

また、保証期間を経過している場合は、代替機貸出サービスは受けられません。

輸出に関する注意事項

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、日本国および外国の法に基づいて許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、NECプロジェクト・カスタマサポートセンター（[88ページ](#)）にお問い合わせください。

保証期間

1 a お買い上げ時の保証書またはレシートをご提示いただいた場合：

保証書に記載された期間、もしくはご購入された国の通常の保証期間まで有効。

b 本機のみ持ち込まれた場合：

本機に貼付されている製造番号（SERIAL NO.）の製造年月より14 か月以内。

2 保証期間を経過した製品を持ち込まれた場合：

有償にて修理対応いたします。ただし、代替機貸出サービスは受けることはできません。

3 次のような場合には、保証期間中でも有償修理になる場合があります。

- 1) 保証書に、お買い上げ日、形名、および製造番号（SERIAL NO.）、販売店名の記入のない場合、または字句を書き変えられた場合。
- 2) お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障、損傷の場合。
- 3) お客様による使用上の誤り、あるいは不当な改造、修理による故障および損傷。
- 4) 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷。
- 5) 高温・多湿の場所、車輛、船舶等で使用された場合に生ずる故障および損傷。
- 6) 本機に接続している当社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損傷。
- 7) 正常なご使用状態のもとで部品が自然消耗、磨耗、劣化により故障した場合。
- 8) ランプ等の消耗品、および添付品、オプション品が故障および損傷した場合。
- 9) その他、本機に添付された保証書の保証規定が適用されます。



海外でご使用になる場合は、使用する国の規格・電源電圧に適合する電源コードを使用することにより100-240Vで使用可能です。
使用する国の規格・電源電圧に適合する電源コードを必ず使用してください。
詳細に関しては、NECプロジェクタ・カスタマサポートセンター（次ページ参照）までお問い合わせください。

トラベルケア窓口リスト

このリストは、2005年9月1日現在のものです。

最新の連絡先に関しては、トラベルケア窓口リストに記載されている各国のサービスステーションのホームページもしくは当社**ViewLight CLUB ホームページ**<http://www.nevt.co.jp/vlclub/>をご覧ください。

また、詳細に関しては、NECプロジェクタ・カスタマサポートセンターまでお問い合わせください。

NECプロジェクタ・カスタマサポートセンター 0120-610-161

(受付 9:00～12:00、13:00～17:00、土・日・祝祭日、および当社指定日は除く)

【欧州】 In Europe

NEC Europe, Ltd. / European Technical Centre

Address: Unit G, Stafford Park 12, Telford TF3 3BJ, U.K.

Telephone: +44 1952 237000

Fax Line: +44 1952 237006

Email Address: AFR@uk.neceur.com

WEB Address: <http://www.neceur.com>

(対応地域) <Regions Covered>

EU: Austria *, Belgium *, Denmark *, Finland *, France *, Germany *, Greece *, Ireland *, Italy *, Luxembourg *, The Netherlands *, Portugal *, Spain *, Sweden * and the United Kingdom *

EEA: Norway *, Iceland and Liechtenstein

【北米】 In North America

NEC Solutions (America), Inc.

Address: 1250 N. Arlington Heights Road, Itasca, Illinois 60143, U.S.A.

Telephone: +1 800 836 0655

Fax Line: +1 800 356 2415

Email Address: vsd.tech-support@necsam.com

WEB Address: <http://www.necvisualsystems.com>

(対応地域) <Regions Covered>

U.S.A. *, Canada *

【大洋州】 In Oceania

NEC Australia Pty., Ltd.

Address: 84A Richmond Road, Keswick SA 5035, Australia

Telephone: 13 16 32 (オーストラリア国内からかける場合)

61 8 8375 5706 (オーストラリア国外からかける場合)

Fax Line: 61 8 8375 5757

Email Address: lee.gramola@nec.com.au

WEB Address: <http://www.nec.com.au>

(対応地域) <Regions Covered>

Australia *, New Zealand

* : 代替機貸出サービスが受けられます。

〔アジア・中近東〕 In Asia and Middle East

NEC Hong Kong Ltd.

Address: 11th Floor, Tower B, New Mandarin Plaza, 14 Science Museum Road,
Tsim Sha Tsui East, Kowloon, Hong Kong
Telephone: +852 2369 0335
Fax Line: +852 2795 6618
Email Address: esmond_au@nechk.nec.com.hk
WEB Address: <http://www.nec.com.hk>

(対応地域) <Regions Covered>

Hong Kong

NEC Taiwan Ltd.

Address: 7F, No.167, SEC.2, Nan King East Road, Taipei, Taiwan, R.O.C.
Telephone: +886 2 8500 1734
Fax Line: +886 2 8500 1420
Email Address: weblord@nec.com.tw
WEB Address: <http://www.nec.com.tw>

(対応地域) <Regions Covered>

Taiwan

NEC Solutions Asia Pacific Pte. Ltd

Address: 401 Commonwealth Drive, #07-02, Haw Par Technocentre,
Singapore 149598
Telephone: +65 6 273 8333
Fax Line: +65 6 274 2226
Email Address: tehgh@rsc.ap.nec.com.sg
WEB Address: <http://www.nec.com.sg/ap>

(対応地域) <Regions Covered>

Singapore

NEC Systems Integration Malaysia Sdn Bhd

Address: Ground Floor, Menara TA One, 22, Jalan P. Ramlee,
50250 Kuala Lumpur, Malaysia
Telephone: +6 03 2164 1199
Fax Line: +6 03 2160 3900
Email Address: necare@nsm.nec.co.jp
WEB Address: <http://www.necmalaysia.com.my>

(対応地域) <Regions Covered>

Malaysia

Tele Service Co., Ltd.

Address: 2nd Fl., Ire B/D. #2, 4Ga, Yangpyeng-Dong,
Youngdeungpo-Gu, Seoul, Korea 150-967
Telephone: +82 2 2163 4193
Fax Line: +82 2 2163 4196
Email Address: moneybear@hyosung.com

(対応地域) <Regions Covered>

South Korea

Lenso Communication Co., Ltd.

Address: 292 Lenso House 4, 1st Floor, Srinakarin Road, Huamark, Bangkok,
Bangkok 10240, Thailand
Telephone: +66 2 375 2425
Fax Line: +66 2 375 2434
Email Address: pattara@lenso.com
WEB Address: <http://www.lenso.com>

(対応地域) <Regions Covered>

Thailand

ABBA Electronics L.L.C.

Address: Tariq Bin Ziyad Road, P.O.Box 327, Dubai, United Arab Emirates

Telephone: +971 4 371800

Fax Line: +971 4 364283

Email Address: ABBA@emirates.net.ae

(対応地域) <Regions Covered>

United Arab Emirates

Samir Photographic Supplies

Address: P.O.Box 599, Jeddah 21421, Saudi Arabia

Telephone: +966 2 6828219

Fax Line: +966 2 6830820

Email Address: vartkes@samir-photo.com

(対応地域) <Regions Covered>

Saudi Arabia

TO: NEC Viewtechnology's Authorized Service Station:
FM:

Dear Sir (s),

I would like to apply your TravelCare Service Program and agree with your following conditions, and also the Service fee will be charged to my credit card account, if I don't return the Loan units within the specified period. I also confirm the following information is correct.

Regards.

Application Sheet for TravelCare Service Program

Country, product purchased:	
User's Company Name:	
User's Company Address:	
Phone No., Fax No.:	
User's Name:	
User's Address:	
Phone No., Fax No.:	
Local Contact office:	
Local Contact office Address:	
Phone No., Fax No.:	
User's Model Name:	
Date of Purchase:	
Serial No. on cabinet:	
Problem of units per User:	
Required Service:	(1) Repair and Return (2) Loan unit
Requested period of Loan unit:	
Payment method:	(1) Credit Card (2) Travelers Cheque (3) Cash
In Case of Credit Card: Card No. w/Valid Date:	

Condition of your TravelCare Service Program

Enduser is requested to understand the following conditions of TravelCare Service Program and fill necessary information into the application sheet.

1. Service Options:

There are 3 types of "Service" available. Enduser has to understand the following conditions and is required to fill in the Application sheet.

(1). Repair and Return:

The 'Faulty unit' is sent or collected from the customer. It is repaired and returned within 10 days to the customer, excluding transport time.

There may have a case, repair and return can't be done by Local Service Station, because of shortage of spare parts due to same model is not sold in the territory.

(2). Repair and Return with Loan: (This service is limited to some Service Stations)

This service is offered to the Enduser, who cannot wait until their unit is repaired.

The customer can borrow a unit for \$200 up to 12 days. Customer then sends in inoperable unit to nearest NEC Viewtechnology's Authorised Service Station for service. In order to prevent collection problem, Enduser is required to fill in Application Sheet.

Enduser needs to confirm the availability of the Service to Local Service Stations.

(3). Loan Only:

For this service, the local NEC Viewtechnology's Authorised Service Station supplies the customer with a loan unit for U\$200 up to 12 days. Customer keeps the inoperable unit and when customer returns home, customer arranges to have the projector serviced in the home country.

2. Warranty Exclusions:

This program does not apply if the Projector's serial number has been defaced, modified or removed.

If, in the judgement of the NEC Viewtechnology's Authorised Service Station or its agent the defects or failures result from any cause other than fair wear and tear or NEC Viewtechnology's neglect, or fault including the following without limitation:

- 1) Accidents, transportation, neglect, misuse, abuse, water, dust, smoke or default of or by the Customer its employees or agents or any third party;
- 2) Failure or fluctuation of electrical power, electrical circuitry, air conditioning, humidity control or other environmental conditions such as use it in smoking area;
- 3) Any fault in the attachments or associated products or components (whether or not supplied by NEC Viewtechnology or its agents which do not form part of the Product covered by this warranty);
- 4) Any act of God, fire, flood, war, act of violence or any similar occurrence;
- 5) Any attempt by any person other than any person authorised by NEC Viewtechnology to adjust, modify, repair, install or service the product.
- 6) Any Cross-border charges such as, duty, insurance, tax etc.

3. Charges for Warranty Exclusions and Out of Warranty Case:

In case faulty unit is under warranty exclusions case or under Out of Warranty period, Local Service Station will Inform estimation of actual service cost to the Enduser with reason.

4. Dead on Arrival (DOA):

Enduser must take this issue up with their original supplier in the country of purchase.

Local Service Station will repair the DOA unit as a Warranty repair, but will not exchange DOA unit with new units.

5. Loan Service Charges and Conditions:

Upon acceptance of this NEC Projector, Customer agrees to assume liability for this "loan" replacement unit.

The current cost of use of this loan unit is \$200.00 USD for 12 calendar days.

If Customer does not return the unit within the 12 calendar days, Customer will be charged the next highest cost up to and including the full list price to Credit Cards, which price will be informed by NEC Viewtechnology's Authorized Service Stations. Please see the attached listing of contacts for each country to arrange for pickup of the 'loan' unit.

If you return to their country of origin with the 'loan' unit, you will be charged additional freight to return the unit to the loaning country.

Thank you for your understanding of this program.

索引

数字／アルファベット

AC IN 端子	16,	29
LAMPインジケータ	18,	76
POWERインジケータ	18,	75
RGB信号ケーブル	13,	25
sRGB		54
STATUSインジケータ	18,	76

五十音

【ア行】		
明るさ		55
アスペクト		56
位相		58
色温度		55
インジケータ		75
映像調整		54
エコモード	59,	64
オートフォーカス	36,	62
オフタイマー		62
オンスクリーンメニュー		49
オンスクリーンメニュー一覧		52
温度プロテクタ		76
音量調整		41

【カ行】		
解像度		79
画像設定		56
壁色補正		59
カラー		55
ガンマ補正		54
乾電池（単4）	13,	22
キーワード		45
吸気口		16
強制エコモード		60
クロック周波数		58
コントラスト		55

【サ行】		
色相		55
自動台形補正	37,	59
自動調整		40
シネマポジション		57
シャープネス		55

詳細設定		54
情報		64
信号選択	32,	63
垂直		57
水平		57
ズームレバー	16,	36
スクリーンサイズ	24,	77
スピーカ	16,	41
静止画		44
セキュリティ		45
セットアップ		59
接続端子部	16,	19
ソフトケース		13

【タ行】		
対応解像度一覧		79
台形補正	39,	59
台形補正保存		59
ダイレクトパワーオフ		15
チルトフット	16,	35
チルトボタン	16,	35
通信速度		61
電源コード	13,	29
投写角度		35
投写距離	24,	77
投写方法		60
盗難防止用ロック	16,	17

【ナ行】		
入力信号		32
ノイズリダクション		58

【ハ行】		
排気口		16
バックグラウンド		62
パワーマネージメント		63
表示言語		60
表示時間		62
ファンモード		63
フォーカスセンサ部		16
プリセット		54
ホワイトピーキング		55
本体キーロック		61
本体操作部	16,	18

【マ行】

マウス操作	48
マウスレシーバ	47
メニュー表示色選択	62

【ラ行】

ランプカバー	17,	69
ランプ時間クリア		65
ランプ使用時間	64,	65
ランプモード		59
リアフット	17,	35
リセット	55,	65
リモコン	13,	20
リモコン受光部	16,	22
リモコンの有効範囲		22
レンズ	16,	66
レンズキャップ		13

輸出に関する注意事項

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、日本国および外国の法に基づいて許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、NECプロジェクタ・カスタマサポートセンター（ [裏表紙](#)）にお問い合わせください。

NECデータプロジェクタ LT35J / LT30J / LT25J 取扱説明書

2005年9月 初版

NECビューテクノロジー株式会社

© NEC Viewtechnology, Ltd. 2005

NECビューテクノロジー株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

もう入会はお済みですか？

ビューライトクラブ



インターネット上に **ViewLight CLUB** のホームページを設けています。

<http://www.nevt.co.jp/vlclub/>

お問い合わせは

NECプロジェクタ・カスタマサポートセンター

0120-610-161

受付 9:00～12:00 13:00～17:00
(土・日・祝祭日、および当社指定日は除く)

NECビューテクノロジー株式会社

第二販売推進本部

〒108-0014 東京都港区芝五丁目37番8号 住友三田ビル

TEL (03) 5232-6148 (ダイヤルイン)